



TITLE:

『左傳』の豫言

AUTHOR(S):

吉本, 道雅

CITATION:

吉本, 道雅. 『左傳』の豫言. 京都大學文學部研究紀要 2016, 55: 1-60

ISSUE DATE:

2016-03-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209964>

RIGHT:

『左傳』の豫言

吉 本 道 雅

序言

『左傳』の成書年代を考える一つの手がかりとして、戦國時代の事件に對する豫言 prediction^{*1}の驗不驗がある。筆者は「左傳成書考」(2002)において、『左傳』に豫言された戦國時代の事件の年代を考證し、文六 B^{*2}「君子是以知秦之不復東征也」が、前 364 年の石門の戦における秦獻公の勝利以前の状況を反映する『左傳』で唯一の「不驗」の豫言であることを確認した上で、『左傳』所見の歳星記事が前 365 年を起點として推歩されたという新城新藏の考證^{*3}および『春秋』に著しい楚に對する夷狄視を『左傳』が回避していること^{*4}を根據に、劉向『別録』^{*5}が『左傳』の傳授に關わるとする呉

*1 中國語では prediction・prophecy をともに「預言」と表記するが、日本語では「預言」は prophecy に専用するので、本稿では prediction を「豫言」と表記することにする。

*2 本稿では、便宜的に小倉 1988-89 の分章を用いる。年次に續く 1・2・3・…は有經之傳、A・B・C・…は無經之傳の章番號である。

*3 新城 1928、「歳星の記事によりて左傳國語の製作年代と干支紀年法の發達とを論ず」。なお、『左傳』の天象については張培瑜 2009 をも参照。

*4 吉本 2003・2007。

*5 『左傳正義』春秋序「劉向別録云、左丘明授曾申、申授吳起、起授其子期、期授楚人鐸椒。鐸椒作抄撮八卷、授虞卿。虞卿作《抄撮》九卷、授荀卿、荀卿授張蒼」。『史記』十二諸侯年表「魯君子左丘明懼弟子人人異端、各安其意、失其真、故因孔子史記具論其語、成左氏春秋。鐸椒為楚威王（前 339～前 329）傳、為王不能盡觀春秋、采取成敗、卒四十章、為鐸氏微。趙孝成王（前 265～前 245）時、其相虞卿上采春秋、下觀近勢、亦著八篇、為虞氏春秋」を踏まえたものと思われるが、『論語』公冶長「子曰、巧言・令色・足恭、左丘明恥之、丘亦恥之。匿怨而友其人、左丘明恥之、丘亦恥之」から、左丘明と『左傳』の關係を読み取ることは困難であろうし、鐸椒から虞卿への傳授は年代的に無理があり、『別録』の記述をそのまま信用することはできない。しかしそれにも関わらず、(1) 吳起の経歴は『左傳』の内容に適合的であり、(2) 吳起の子、吳期がここにしか見えないという事実は、逆に吳起・吳期の傳授に信憑性を与え、(3) 吉本 2015 で指摘したように、現行『左傳』に先行して『春秋經』の解經に限定された『原左傳』が存在したことが推定され、それは左丘明・曾申に

起*⁶・呉期父子が楚において『左傳』を編纂し、その基本的な成書年代が前 364 年以前であることを推定した。

この結論には、なお基本的に變更の必要を認めないが、豫言された戦國時代の事件の年代を考證するという作業は、そもそも戦國時代の事件を対象とするものが『左傳』の豫言のごく一部に過ぎないこともあって、豫言をめぐる様々な問題を捨象するものであったといわざるを得ない。

本稿では問題を仕切り直して、『左傳』の春秋時代の事件に関する豫言を取り上げることで、『左傳』の春秋史に對する歴史認識を確認するものとする。豫言の対象となる事件には、『左傳』のより強い關心が作用していたことが容易に想像される。それらの事件を概観することによって、『左傳』が春秋史のいかなる脈絡に注目していたかが明らかになるはずである。

第一章 豫言の定義

「豫言」は、狭義には卜筮などの方術を用いて未來の事態を語ることという。『左傳』にも、卜筮・星氣、あるいは名・相・夢・謠言・災祥などを対象とする雜占、さらに醫などの方術を用いた豫言がある*⁷。もっとも、『左傳』においてより頻見するのは、方術を用いない豫言である*⁸。たとえば、鄭莊公の共叔段敗滅の豫言（隱元 3）の如く、ある人物の非行を根據にその人物の非命を豫言するものがそれである。

『左傳』における豫言の作用として、第一に、豫言を含む言論の正當性が強化される

年代的に相当する魯人の作品と考えることが自然である。これらの所見から、筆者は、『別錄』の『左傳』傳授の鐸椒までの部分が『左傳』成書の実際の過程を一定程度反映するものと考ええる。

*6 吉本 2005、513-514 頁では、『史記』魏世家「(武侯) 九年 (前 378)、翟敗我于澮。使吳起伐齊、至靈丘」を根據に、吳起卒年が、孫子吳起列傳に見える楚悼王 (前 401 ~ 前 381) 卒年ではなく、肅王 (前 380 ~ 前 370) 卒年に當たることを考證した。さらに、吉本 2013 に考證したように、清華簡『繫年』によれば、楚肅王の在位年代は前 378 ~ 前 368 に降る可能性がある。

*7 『左傳』の方術についての包括的記述としては、劉瑛 2006 がある。

*8 張衛中 1996 は方術を用いない預言を專論する。

ことがある。とりわけ方術を用いず禮説を根據とする豫言^{*9}については、「驗」が示されることによって、禮説の正當性が強化されることになる。『左傳』の豫言は、その「驗」となる事件をもつがことがより一般的である。そうした『左傳』のありかたに馴染んだ読者は、明確な「驗」が示されない豫言（後述）であっても、豫言の形式そのものに言論の正當性を看取することになろう。

豫言の第二の作用は、歴史の脈絡を明示することにある。豫言は、その対象となる事件の原因を伏線として、さらには事件の結果をもあらかじめ提示することで、歴史の脈絡に対する読者の理解を促す歴史記述の一つのありかたとなる^{*10}。一體、嚴密な編年體は歴史の脈絡をたどることを困難にする。『春秋』が完全な編年體であるのに對し、『左傳』は特定の事件の記述に際して、「初」の書き出し^{*11}で、時間を遡って事件の原因や背景を記述し、あるいは豫言を提示することで、將來の事件との關係を示しているのである。なお、事件の終結後に、過去においてその事件が豫言されていたことが記述される場合もある^{*12}。

この第二の作用に注目すると、一般には豫言ではなく豫測・豫告というべきものが、狹義の豫言と同様に事件の結果をあらかじめ示している事例が少なからず認められる。たとえば、隱九 A の公子突^{*13}の發言^{*14}のように、戰爭に先立ってその經過や勝敗が豫測される、あるいは、僖九 5 の荀息の發言^{*15}のように、話者自身の行為が豫告される、

*9 『左傳』桓十八 1「十八年春、公將有行、遂與姜氏如齊。申繻曰、女有家、男有室、無相瀆也。謂之有禮。易此、必敗」など。

*10 張翹 2002 は『左傳』の「伏線」についての專論である。

*11 『左傳』隱元 3「初、鄭武公娶于申、曰武姜、生莊公及共叔段。莊公寤生、驚姜氏。故名曰寤生、遂惡之。愛共叔段、欲立之。亟請於武公、公弗許」など

*12 『左傳』桓十八 B「周公欲弑莊王而立王子克。辛伯告王、遂與王殺周公黑肩。王子克奔燕。初、子儀有寵於桓王、桓王屬諸周公。辛伯諫曰、竝后、匹嫡、兩政、耦國、亂之本也。周公弗從、故及」など。

*13 人名については、周王・諸侯および孔子（仲尼）以外は字・諡ではなく諱を用いる。

*14 『左傳』隱九 A「北戎侵鄭、鄭伯禦之、患戎師曰、彼徒我車、懼其侵軼我也。公子突曰、使勇而無剛者、嘗寇、而速去之。君爲三覆以待之。戎輕而不整、貪而無親。勝不相讓、敗不相救。先者見獲、必務進。進而遇覆、必速奔。後者不救、則無繼矣。乃可以逞。從之。戎人之前遇覆者奔、祝聃逐之。衷戎師、前後擊之、盡殲。戎師大奔。十一月甲寅、鄭人大敗戎師。」

*15 『左傳』僖九 5「初、獻公使荀息傅奚齊。公疾、召之曰、以是藐諸孤、辱在大夫、其若之何。稽首而對曰、臣竭其股肱之力、加之以忠貞。其濟、君之靈也。不濟、則以死繼之。」

そしてそれら豫測・豫告のとおり事態が推移するといった記述がそれである。本稿ではこれら豫測・豫告をも廣義の豫言として扱うこととする。

本稿では、基本的に、春秋時代人の言論に含まれる豫言を扱うが、ここで留意しておきたいものが「君子」の言論である。『春秋』の書法に關する議論を含むこと^{*16}に注目すれば、一律に『左傳』編者の發言とみなすことも不可能ではないが、その一方で、匿名の春秋時代人の發言とみなしてさしつかえない事例も少なくない^{*17}。「君子」の言論は特定の事件のあとに附されるが、それ以後の事態に言及することもある^{*18}。「君子」が『左傳』編者であった場合は、事後の評論となるが、その場合にしても、『左傳』の讀者にとっては、將來の事件をあらかじめ示すという點で、春秋時代人の豫言と選ぶところはない。本稿ではこれらも豫言として扱うことにする。「君子」の言論は、「君子曰」のほか、「君子謂」「君子是以知」「君子以爲」の書き出しをもつものがある。直接話法である「君子曰」は「曰」の後が言論であることは明白だが、「君子謂」^{*19}「君子是以知」^{*20}「君子以爲」^{*21}については、地の文と言論とが時に判別しがたい事例がある。本稿ではこれらも一律に「君子曰」に準ずるものとして扱うこととする。

今ひとつ問題とすべきは、「仲尼曰」「孔子曰」である。本稿では、事件の當事者の

*16 『左傳』成十四5「故君子曰、春秋之稱微而顯、志而晦、婉而成章、盡而不汙、懲惡而勸善、非聖人誰能脩之」など。

*17 鄭良樹 1974。

*18 『左傳』隱十一A「君子是以知桓王之失鄭也」など。

*19 『左傳』僖二十八7「君子謂是盟也信、謂晉於是役也能以德攻」の句中の「也」、とりわけ「也能」は直接話法に専用される。「君子謂」の直後から言論が始まるものとみなしてさしつかえない。

*20 『左傳』文四2「君子是以知出姜之不允於魯也、曰、貴聘而賤逆之、…」は、「曰」に先立つ「君子是以知…也」が地の文であることを明示するが、文三3「君子是以知秦穆公之爲君也、舉人之周也、舉人之壹也。孟明之臣也、其不解也、能懼思也。子桑之忠也、其知人也、能舉善也。…」では、「秦穆公之爲君也」が「孟明之臣也」「子桑之忠也」と句法を同じくし、かつ「…也、能…」が直接話法に専用されることから、「秦穆公之爲君也」から言論が始まっていることになる。この事實は、「君子是以知…也」が、「君子曰」に導かれた言論を要約した形式であることを示唆する。

*21 「君子以（…）爲…」も形式的には間接話法に屬するが、『左傳』僖元9「君子以齊人殺哀姜也、爲已甚矣、女子從人者也」の「矣」は直接話法に専用される。本來、「君子曰、齊人殺哀姜也、已甚矣、女子從人者也」の如き「君子曰」に導かれた言論が改變されたものとなろう。

發言としての「仲尼曰」「孔子曰」および「孔丘曰」*22は、魯人の發言として扱うが、それ以外は、「君子曰」に準ずるものとして扱うことにする。

第二章 豫言の年代的分布

前章の定義に基づき、『左傳』の豫言を一覧したものが、表1である。冒頭の1・2・3…、A・B・C…は章番號。次の【 】内は發言者の國別。君子や仲尼もしくは孔子、その他國別不明のものは【-】と表記する。發言者のあとの（ ）には、方術を用いた豫言については、長文に渉るものが少なくないので、★のあとに方術の種類を表記するのみとする。方術を用いない豫言については、「 」内に豫言の一部を表記する。：のあとは豫言された事件。そのあとの（ ）には事件を含む年次・章番號を表記する。豫言と豫言された事件が同じ章に屬する事例には*を附する。豫言された事件が『左傳』に見えない、あるいは一回的な事件に限定できない場合は（▲）と表記する。

なお、後述の如く、『左傳』の記述は晉を軸になされているとってさしつかえない。表1において、晉人の豫言については「【晉】 人名」を太字で示し、晉以外の國に屬する人物による晉の事件に關する豫言は、「【國】 人名」に實線の下線を附し、晉以外の國に屬する人物が、晉の主宰する會盟や晉への朝聘の際に行った豫言は「【國】 人名」に破線の下線を附している。

表1 豫言

隱元 722BC	3 【鄭】 鄭莊公（「必自斃」「將自及」）：大叔段の亂（* 隱元 3）
隱二 721	
隱三 720	A 【-】 君子（「信不由中、質無益也」）：繻葛の戰（桓五 6） B 【衛】 石碏（「去順效逆、所以速禍也」）：州吁の亂（隱四 2）

*22 『左傳』昭十七 3「仲尼聞之、見於鄭子而學之、既而告人曰、…」・定十 2「孔丘以公退、曰、…孔丘使茲無還揖對曰、…孔丘謂梁丘據曰、…」・定十五 5「仲尼曰、…」・哀三 3「孔子在陳聞火、曰、…」・哀十一 1「孔子曰、能執干戈以衛社稷、可無瘍也。…孔子曰、義也。」・哀十一 6「仲尼曰、胡簋之事、…曰、鳥則擇木、…」・哀十一 C「仲尼曰、丘不識也。…仲尼不對、而私於冉有曰、…」・哀十二 6「仲尼曰、丘聞之、…」・哀十四 1「仲尼觀之曰、…」・哀十四 10「對曰、陳恆弑其君、…孔子辭、退而告人曰、…」・哀十五 C「孔子聞衛亂、曰、…」。

隱四 719	4【魯】衆仲（「必不免矣」）：州吁卒（隱四 6）
隱五 718	
隱六 717	D【周】周桓公（「鄭不來矣」）：繻葛の戦（桓五 6）
隱七 716	A【鄭】洩伯（「五父必不免」）：公子佗の亂（桓五 1）
隱八 715	
隱九 714	A【鄭】公子突（「君爲三覆以待之」）：北戎侵鄭（* 隱九 A）
隱十 713	
隱十一 712	3【鄭】鄭莊公（「凡而器用財賄無實於許我死乃亟去之」）：許の復國（桓十五 6） A【-】君子（「君子是以知桓王之失鄭也」）：繻葛の戦（桓五 6） B【-】君子（「君子是以知息之將亡也」）：楚滅息（莊十四 3）
桓元 711	
桓二 710	4【周】周內史（「臧孫達其有後於魯乎」）：臧孫氏（▲） A【晉】師服（★名／「其能久乎」）：晉の内戦（* 桓二 A）
桓三 709 ～桓四 708	
桓五 707	6【鄭】子元（「陳亂、民莫有鬪心」）：繻葛の戦（* 桓五 6）
桓六 706 ～桓八 704	
桓九 703	4【魯】施父（「曹太子其有憂乎」）：曹桓公卒（桓十 1）
桓十 702	
桓十一 701	A【楚】鬬廉（「鄢人軍其郊、必不誠」）：鄢伐楚（* 桓十一 A） 2【鄭】祭仲（「子無大援、將不立、三公子皆君也」）：鄭厲公立（桓十一 4）・鄭公子臺立（桓十七 A）・鄭公子儀立（桓十八 A）
桓十二 700	A【楚】屈瑕（「絞小而輕」）：楚伐絞（* 桓十二 A）
桓十三 699	A【楚】鬬伯比（「莫敖必敗」）・鄧曼（「莫敖狃於蒲騷之役」）：屈瑕卒（* 桓十三 A）
桓十四 698	

～桓十六 696	
桓十七 695	A 【魯】 公子達 (「高伯其爲戮乎」) : 高渠彌卒 (桓十八 A)
桓十八 694	1 【魯】 申繻 (「易此、必敗」) : 魯桓公薨 (桓十八 2) B 【周】 辛伯 (「亂之本也」) : 王子克の亂 (* 桓十八 B)
莊元 693 ～莊三 691	
莊四 690	A 【楚】 鄧曼 (「王祿盡矣」) : 楚武王卒 (* 莊四 A)
莊五 689	
莊六 688	A 【鄧】 三甥 (「亡鄧國者、必此人也」) : 楚滅鄧 (* 莊六 A)
莊七 687 ～莊九 685	
莊十 684	1 【魯】 曹劌 (「可矣」) : 齊伐魯 (* 莊十 1) 4 【魯】 公子偃 (「宋師不整、可敗也」) : 郎の戰 (* 莊十 4) 5 【息】 息侯 (「伐我、吾求救於蔡而伐之」) : 楚伐蔡 (* 莊十 5)
莊十一 683	3 【魯】 臧孫達 (「是宜爲君」) : 宋桓公立 (莊十二 4)
莊十二 682 ～莊十九 675	
莊二十 674	A 【鄭】 鄭厲公 (「臨禍忘憂、憂必及之」) : 王子頹の亂 (莊二十一 2)
莊二十一 673	2 【周】 原伯 (「其亦將有咎」) : 鄭厲公卒 (* 莊二十一 2)
莊二十二 672	3 【齊】 懿氏妻 (★卜筮) : 陳氏始大 (昭十 2)・陳恆執簡公 (哀十四 3) 3 【周】 周史 (★卜筮) : 楚滅陳 (昭八 9)・陳氏始大 (昭十 2)・楚滅陳 (哀十七 D)・陳恆執簡公 (哀十四 3)
莊二十三 671	
莊二十四 670	5 【魯】 禦孫 (「今男女同贊」) : 哀姜薨 (閔二 4) A 【晉】 士蒍 (「不過二年、君必無患」) : 桓莊之族滅 (莊二十五 A)
莊二十五 669 ～莊二十六 668	
莊二十六 668	

莊二十七 667	A 【晉】士蒍（「虢公驕」）：晉滅虢（僖五 8）
莊二十八 666 ～莊三十一 663	
莊三十二 662	A 【周】內史過（★災祥）／【虢】史嚭（★災祥）：晉滅虢（僖五 8） 3 【魯】魯莊公（「不如殺之」）：公子般卒（* 莊三十二 3） 3 【魯】公子友（「飲此、則有後於魯國」）：叔孫氏（▲）
閔元 661	5 【齊】仲孫湫（「將自斃」）：公子慶父卒（閔二 4） A 【晉】士蒍（「太子不得立矣」）：太子申生卒（僖四 A） B 【晉】卜偃（★名）／【晉】辛廖（★卜筮）：畢萬（▲）
閔二 660	A 【虢】舟之僎（「殃將至矣」）：晉滅虢（僖五 8） B 【魯】卜楚丘之父（★卜筮）：季氏（▲） C 【晉】里克（「非太子之事也」）・狐突（「今亂本成矣、立可必乎」）：太子申生卒（僖四 A）
僖元 659	
僖二 658	3 【晉】荀息（「若得道於虞、猶外府也」）：晉滅虞（僖五 8） B 【晉】卜偃（「虢必亡矣」）：晉滅虢（僖五 8）
僖三 657	7 【鄭】孔叔（「齊方勤我、棄德不祥」）：齊伐鄭（僖六 2）
僖四 656	A 【晉】卜人（★卜筮）：太子申生卒（* 僖四 A）
僖五 655	1 【晉】士蒍（「三年將尋師焉、焉用慎」）：公子重耳出奔（* 僖五 1）・公子夷吾出奔（僖六 A） 5 【鄭】孔叔（「君必悔之」）：齊伐鄭（僖六 2） 8 【虞】宮之奇（「虢亡、虞必從之」）：晉滅虞（* 僖五 8） 8 【晉】卜偃（★謠言・星氣）：晉滅虢（* 僖五 8）
僖六 654	
僖七 653	3 【楚】楚文王（「女必不免」）：申侯卒（* 僖七 3） 4 【齊】管夷吾（「亦必不免」）：太子華卒（僖十六 D）
僖八 652	2 【晉】虢射（「期年狄必至」）：晉敗狄（* 僖八 2）
僖九 651	4 【周】宰孔（「其在亂乎」）：晉惠公立（僖十 5）

	5【晉】荀息（「不濟、則以死繼之」）：荀息卒（僖九 6） B【秦】公孫枝（「今其言多忌克、難哉」）：韓の戰（僖十五 12a）
僖十 650	A【晉】大子申生（★夢）：韓の戰（僖十五 12a）
僖十一 649	A【周】內史過（「晉侯其無後乎」）：晉懷公卒（僖二十四 A）
僖十二 648	C【-】君子（「管氏之世祀也宜哉」）：管氏（▲）
僖十三 647	A【齊】仲孫湫（「不十年、王弗召也」）：王子帶歸國（僖二十二 C）
僖十四 646	3【晉】卜偃（★災祥）：韓の戰（僖十五 12a） A【晉】慶鄭（「君其悔是哉」）：韓の戰（僖十五 12a）
僖十五 645	12a【秦】卜徒父（★卜筮）／【晉】慶鄭（「君必悔之」）／【晉】韓簡（「吾幸而得囚」）：韓の戰（* 僖十五 12a） 12a【晉】史蘇（★卜筮）：韓の戰（僖十五 12a）・大子圉質（僖十七 A）・大子圉歸國（僖二十二 B）・晉懷公卒（僖二十四 A） 12b【秦】秦穆公：晉文公立（僖二十四 A）
僖十六 644	1【周】內史叔興（★災祥）：公子友卒（僖十六 2）・公孫茲卒（僖十六 4）・齊桓公卒（僖十七 4）・泓の戰（僖二十二 4） 5【齊】役人（★謠言）：齊桓公卒（僖十七 4）
僖十七 643	A【梁】卜招父（★卜筮）：大子圉質（* 僖十七 A）
僖十八 642	
僖十九 641	3【宋】公子目夷（「得死爲幸」）：泓の戰（僖二十二 4） 5【衛】甯速（★災祥）：衛伐邢（* 僖十九 5）
僖二十 640	A【魯】臧孫辰（「以人從欲、鮮濟」）：泓の戰（僖二十二 4）
僖二十一 639	2【宋】公子目夷（「宋其亡乎。幸而後敗」）：泓の戰（僖二十二 4） 4【宋】公子目夷（「禍其在此乎」）：泓の戰（僖二十二 4） 7【宋】公子目夷（「禍猶未也」）：泓の戰（僖二十二 4）
僖二十二 638	2【宋】公子目夷（「所謂禍在此矣」）：泓の戰（僖二十二 4） A【周】辛有（「不及百年、此其戎乎」）：陸渾の戎（* 僖二十二 A） 3【魯】臧孫辰（「國無小、不可易也」）：邾伐魯（* 僖二十二 3） 4【宋】公孫固（「天之弃商久矣」）：泓の戰（* 僖二十二 4）

	D【鄭】叔詹（「楚王其不沒乎」）：楚成王卒（文元 10）
僖二十三 637	<p>A【晉】卜偃（「其何後之有」）：晉懷公卒（僖二十四 A）</p> <p>B【晉】狐偃（「天賜也」）：晉取五鹿（僖二十八 1）</p> <p>B【齊】姜氏（「子有四方之志」）：踐土の盟（僖二十八 7）</p> <p>B【曹】僖負羈之妻（「夫子必反其國」「曹其首也」）：晉文公立（僖二十四 A）・晉入曹（僖二十八 3）</p> <p>B【鄭】叔詹（「天其或者將建諸」）／【楚】楚成王（「公子若反晉國」）：晉文公立（僖二十四 A）</p> <p>B【晉】公子重耳（「其辟君三舍」）：城濮の戦（僖二十八 4）</p> <p>B【晉】趙衰（「君稱所以佐天子者命重耳」）：踐土の盟（僖二十八 7）</p>
僖二十四 636	<p>2【周】富辰（「狄必爲患」）：王子帶の亂（* 僖二十四 2）</p> <p>E【衛】禮至（「不得其守、國不可得也」）：衛滅邢（僖二十五 1）</p>
僖二十五 635	A【晉】卜偃（★卜筮）：王子帶の亂平定（* 僖二十五 A）
僖二十六 634	
僖二十七 633	<p>5【楚】蔣賈（「子玉之敗」）：成得臣卒（僖二十八 5）</p> <p>5【晉】狐偃（「若伐曹・衛、楚必救之」）：城濮の戦（僖二十八 4）</p>
僖二十八 632	<p>3【晉】先軫（「我執曹君、而分曹・衛之田以賜宋人」）：晉分曹衛之田（* 僖二十八 3）</p> <p>4【楚】楚成王（「無從晉師」）／【晉】狐偃（★夢）：城濮の戦（* 僖二十八 4）</p> <p>5【一】河神（★夢）：成得臣卒（僖二十八 5）</p> <p>5【晉】晉文公（「蔣呂臣實爲令尹、奉己而已、不在民矣」）：蔣呂臣令尹【▲】</p>
僖二十九 631	
僖三十 630	4【鄭】佚之狐（「若使燭之武見秦君、師必退」）：秦鄭講和（* 僖三十 4）
僖三十一 629	<p>1【魯】重館人（「不速行、將無及也」）：分曹地（* 僖三十一 1）</p> <p>6【-】？（★卜）：衛の滅亡（▲）</p>
僖三十二 628	4【晉】卜偃（★災祥）／【秦】蹇叔（「晉人禦師必於殽」）：殽の戦（僖

	三十三 3)
僖三十三 627	1 <u>【周】王孫滿</u> (「秦師輕而無禮、必敗」) : 穀の戦 (僖三十三 3) A <u>【秦】孟明</u> (「若從君惠而免之、三年將拜君賜」) : 彭衙の戦 (文二 1)
文元 626	3 <u>【周】內史叔服</u> (★相) : 公孫敖卒 (文十四 8) / 孟氏 (▲) 10 <u>【楚】鬬勃</u> (★相) : 楚成王卒 (* 文元 10)
文二 625	1 <u>【晉】趙盾</u> (「秦師又至、將必辟之」) : 秦伐晉 (文三 3)
文三 624	
文四 623	2 <u>【-】君子</u> (「在國必亂、在家必亡」) : 出姜大歸 (文十八 7)
文五 622	A <u>【晉】甯羸</u> (「其不沒乎」) : 陽處父卒 (文六 6a)
文六 621	B <u>【-】君子</u> (「君子是以知秦之不復東征也」) : 秦の逼塞 (▲) 3 <u>【魯】季孫行父</u> (「備豫不虞」) : 晉襄公卒 (文六 4)
文七 620	4 <u>【宋】樂豫</u> (「公族、公室之枝葉也」) : 宋の内亂 (* 文七 4) 5 <u>【晉】荀林父</u> (「子以疾辭、若何。不然、將及」) : 先蔑奔秦 (* 文七 5)
文八 619	
文九 618	12 <u>【魯】叔仲彭生</u> (「是必滅若敖氏之宗」) : 若敖氏滅 (宣四 A)
文十 617	3 <u>【楚】范巫齋似</u> (★?) : 楚成王卒 (文元 10) ・ 成得臣卒 (僖二十八 5) ・ 鬬宜臣卒 (文十 3) 7 <u>【楚】申舟</u> (「敢愛死以亂官乎」) : 楚圍宋 (宣十四 4)
文十一 616	
文十二 615	7 <u>【晉】士會</u> (「趙氏新出其屬曰臾駢」) : 河曲の戦 (* 文十二 7)
文十三 614	3 <u>【邾】史</u> (★卜筮) : 邾文公卒 (文十三 3)
文十四 613	5 <u>【周】內史叔服</u> (★星氣) : 宋昭公卒 (文十六 6) ・ 齊懿公卒 (文十八 3) ・ 晉靈公卒 (宣二 4)
文十五 612	4 <u>【齊】或</u> (「魯必取之」) : 齊歸公孫敖之喪 (文十五 4) 11 <u>【魯】季孫行父</u> (「齊侯其不免乎」) : 齊懿公卒 (文十八 3)
文十六 611	5 <u>【楚】蔿賈</u> (「夫麋與百濮」) ・ 潘尪 (「姑又與之遇以驕之」) : 楚滅庸 (* 文十六 5) 6 <u>【宋】公孫壽</u> (「君無道」) : 宋昭公卒 (* 文十六 6)

文十七 610	6 【魯】 公子遂 (「齊君之語偷」) : 齊懿公卒 (文十八 3)
文十八 609	1 【齊】 醫 (★醫) : 齊懿公卒 (文十八 3) 1 【魯】 卜楚丘 (★卜筮) : 齊懿公卒 (文十八 3) ・ 魯文公薨 (* 文十八 1) 6 【魯】 公冉務人 (「入必死」) : 叔仲彭生卒 (* 文十八 6)
宣元 608	12 【晉】 趙穿 (「我侵崇」) : 晉侵崇 (* 宣元 12)
宣二 607	3 【晉】 趙盾 : 若敖氏滅 (「殆將斃矣」) (宣四 A)
宣三 606	3 【周】 王孫滿 (★卜筮) : 周の滅亡 (▲) 7 【鄭】 伯儵 (★夢) : 太子蘭立 (僖三十 4)
宣四 605	A 【楚】 鬬穀於菟 (★相) : 若敖氏滅 (* 宣四 A)
宣五 604	
宣六 603	E 【鄭】 王子伯廖 (「弗過之矣」) : 公子曼卒 (* 宣六 E)
宣七 602 ～宣八 601	
宣九 600	10 【鄭】 公子去疾 (「是國之災也、吾死無日矣」) : 楚圍鄭 (宣十二 2)
宣十 599 ～宣十一 598	
宣十二 597	3 【晉】 荀首 (「此師殆哉」) / 【楚】 伍參 (「晉師必敗」) / 【晉】 郤克 (「弗備、必敗」) : 郟の戦 (* 宣十二 3) 3 【晉】 荀首 (「彘子尸之、雖免而歸、必有大咎」) : 先穀卒 (宣十三 4) 3 【晉】 趙朔 (「欒伯善哉。實其言、必長晉國」) : 欒書執政 (成四 9) 7 【衛】 孔達 (「若大國討、我則死之」) : 孔達卒 (宣十四 1)
宣十三 596	
宣十四 595	4 【楚】 申舟 (「我則必死」) ・ 楚莊王 (「殺女、我伐之」) : 楚圍宋 (* 宣十四 4) 6 【齊】 晏弱 (「子家其亡乎」) : 公孫歸父出奔 (宣十八 8)
宣十五 594	2 【楚】 申叔時 (「宋必聽命」) : 楚宋講和 (* 宣十五 2) B. 【周】 劉康公 (「不及十年、原叔必有大咎」) : 趙同卒 (成八 6)

宣十六 593	
宣十七 592	6【晉】郤克（「所不此報、無能涉河」）：鞏の戦（成二 3） A【晉】士會（「郤子其或者欲已亂於齊乎」）：鞏の戦（成二 3）
宣十八 591	
成元 590	A【周】内史叔服（「背盟而欺大國、此必敗」）：周伐戎（* 成元 A）
成二 589	3【晉】韓厥（★夢）：鞏の戦（* 成二 3） A【楚】申叔跪（「宜將竊妻以逃者也」）：屈巫出奔（* 成二 A） 9【魯】臧孫許（「後之人必有任是夫」）：魯昭公如楚（昭七 2）
成三 588	A【晉】荀罃（「若不獲命」）：鄢陵の戦（成十六 6）
成四 587	5【魯】季孫行父（「晉侯必不免」）：晉景公卒（成十 5）
成五 586	A【晉】趙嬰齊（「我亡、吾二昆其憂哉」）：趙同卒（成八 6） A【晉】士渥濁（★夢）：趙嬰齊出奔（* 成五 A）
成六 585	A【晉】士渥濁（「鄭伯其死乎」）：鄭悼公卒（成六 7） B【晉】韓厥（「十世之利也」）：晉の滅亡（▲）
成七 584	7【晉】屈巫（「余必使爾罷於奔命以死」）：公子嬰齊卒（襄三 1）
成八 583	1【魯】季孫行父（「行父懼晉之不遠猶而失諸侯也」）：蒲の盟（成九 2） A【晉】屈巫（「城已惡」）：楚伐莒（成九 11）
成九 582	13【鄭】公孫申（「晉必歸君」）：鄭成公歸國（成十 3）
成十 581	5【晉】桑田之巫（★夢）／【秦】醫緩（★醫）：晉景公卒（* 成十 5）
成十一 580	A【魯】婦人（「將何以終」）：施孝叔卒（▲） E【晉】士燮（「是盟也何益」）：秦背盟（* 成十一 E）
成十二 579	A【晉】士燮（「吾死無日矣夫」）：鄢陵の戦（成十六 6）
成十三 578	1【魯】仲孫蔑（「郤氏其亡乎」）：郤氏滅（成十七 13） 2a【周】劉康公（「其不反乎」）：成肅公卒（成十三 2b） 3【魯】仲孫蔑（「師必有大功」）：麻隧の戦（* 成十三 3）
成十四 577	2【衛】甯殖（「苦成叔家其亡乎」）：郤氏滅（成十七 13） 6【衛】定姜（「是夫也、將不唯衛國之敗、其必始於未亡人」）：衛獻公出奔（襄十四 4）

成十五 576	<p>6【楚】<u>申叔時</u>（「子反必不免」）：公子側卒（成十六 7）</p> <p>7【宋】<u>魚石</u>（「桓氏雖亡、必偏」）：向戌爲左師（* 成十五 7）</p> <p>A【晉】<u>韓厥</u>（「郤氏其不免乎」）：郤氏滅（成十七 13）</p> <p>A【晉】<u>伯宗妻</u>（「子好直言、必及於難」）：伯宗卒（* 成十五 A）</p>
成十六 575	<p>5【魯】<u>仲孫蔑</u>（「晉有勝矣」）：鄢陵の戦（成十六 6）</p> <p>6【楚】<u>申叔時</u>（「吾不復見子矣」）／【鄭】<u>姚句耳</u>（「楚懼不可用也」）</p> <p>／【晉】<u>欒書</u>（「必獲勝焉」）／【晉】<u>郤至</u>（「我必克之」）／【晉】<u>苗賁皇</u>（「必大敗之」）／【晉】<u>史</u>（★卜筮）／【晉】<u>呂錡</u>（★夢）：鄢陵の戦（* 成十六 6）</p> <p>E【周】<u>單襄公</u>（「溫季其亡乎」）：郤氏滅（成十七 13）</p>
成十七 574	<p>A【晉】<u>士燮</u>（「難將作矣」）：晉厲公卒（成十八 2）</p> <p>10【魯】<u>公孫嬰</u>（★夢）：公孫嬰卒（* 成十七 10）</p> <p>13【晉】<u>長魚矯</u>（「憂必及君」）：晉厲公卒（成十八 2）</p>
成十八 573	<p>5【宋】<u>西鉏吾</u>（「晉必恤之」）：虛杞の盟（成十八 13）</p>
襄元 572 ～襄三 570	
襄四 569	<p>1【魯】<u>臧孫紇</u>（「陳不服於楚、必亡」）：楚陳滅（一）（昭八 9）</p>
襄五 568	<p>9【晉】<u>士匄</u>（「我喪陳矣」）：陳叛晉（襄七 10）</p>
襄六 567	
襄七 566	<p>7【魯】<u>叔孫豹</u>（「孫子必亡」）：孫林父出奔（襄二十六 2）</p>
襄八 565	<p>3【鄭】<u>公孫僑</u>（「晉・楚伐鄭、自今鄭國不四、五年弗得寧矣」）：蕭魚の會（襄十一 8）</p>
襄九 564	<p>3【魯】<u>史・穆姜</u>（★卜筮）：穆姜薨（襄九 3）</p>
襄十 563	<p>1【晉】<u>士渥濁</u>（「其將不免乎」）：高厚卒（襄十九 11）・齊莊公卒（襄二十五 2）</p> <p>2【晉】<u>荀偃</u>（「猶有鬼神、於彼加之」）：晉侯疾（* 襄十 2）</p> <p>A【衛】<u>定姜</u>（★卜筮）：衛伐鄭（* 襄十 A）</p> <p>B【魯】<u>仲孫蔑</u>（「鄭其有災乎」）：公子駢・公子發・公孫輒卒（襄十 8）</p>

襄十一 562 ～襄十二 561	
襄十三 560	A【 <u>一</u> 】君子（「晉國以平、數世賴之」）：晉の安定（▲） B【楚】養由基（「子爲三覆以待我、我請誘之」）：庸浦の戦（*襄十三 B）
襄十四 559	3【晉】士鞅（「其欒氏乎」）：欒盈出奔（襄二十一 4） 4【魯】厚成叔（「衛君其必歸乎」）／【魯】臧孫紇（「衛君必入」）：衛獻公復位（襄二十六 3） F【楚】公子貞（「必城郢」）：吳入郢（定四 15）
襄十五 558 ～襄十七 556	
襄十八 555	3【晉】梗陽之巫皋（★夢）：圍齊の役（襄十八 4） 6【晉】師曠（★星氣）・董叔（★星氣）・羊舌肸（「在其君之德也」）：楚伐鄭（*襄十八 6）
襄十九 554	A【晉】欒盈（「主苟終、所不嗣事于齊者、有如河」）：澶淵の盟（襄二十 2） 8【齊】仲子（「君必悔之」）：齊莊公立（*襄十九 8） E【衛】孔烝鉏（「必不有其宗」）：石惡出奔（襄二十八 2）
襄二十 553	6【陳】公子黃（「五年不滅、是無天也」）：慶氏滅（襄二十三 5） A【衛】甯殖（「君入、則掩之」）：衛獻公復位（襄二十六 3）
襄二十一 552	4【晉】羊舌肸（「必祁大夫」）／羊舌肸母（「余懼其生龍蛇以禍女」）：欒盈出奔（*襄二十一 4） 8【晉】羊舌肸（「二君者必不免」）：齊莊公卒（襄二十五 2）・衛殤公卒（襄二十六 3）
襄二十二 551	C【 <u>齊</u> 】晏嬰（「君自棄也、弗能久矣」）：齊莊公卒（襄二十五 2） 4【 <u>齊</u> 】晏嬰（「齊將伐晉」）：齊伐晉（襄二十三 7）
襄二十三 550	6【晉】胥午（「子必不免」）・欒盈（「因子而死、吾無悔矣」）：欒盈卒（襄二十三 11） 6【晉】樂王鮒（「奉君以走固宮、必無害也」）：欒盈反攻（*襄二十三 6）

	<p>7.【齊】晏嬰（「憂必及君」）・崔杼（「羣臣若急、君於何有」）：齊莊公卒（襄二十五 2）</p> <p>7【齊】陳須無（「崔子將死乎」）：崔杼卒（襄二十七 D）</p> <p>9【魯】閔子馬（「若能孝敬、富倍季氏可也」）：公鉏氏（* 襄二十三 9）</p> <p>9【魯】臧孫紇（「吾亡無日矣」）：臧孫紇出奔（襄二十三 10）</p>
襄二十四 549	<p>5.【齊】陳須無（「齊將有寇」）：晉伐齊（襄二十四 8）</p> <p>C【鄭】公孫揮（「是將死矣」）：程鄭卒（襄二十五 E）</p>
襄二十五 548	<p>1【魯】孟公綽（「崔子將有大志」）：齊莊公卒（襄二十五 2）</p> <p>2【齊】陳須無（★卜筮）：齊莊公卒（* 襄二十五 2）</p> <p>2【齊】申鮮虞（「一與一、誰能懼我」）：申鮮虞出奔（* 襄二十五 2）</p> <p>B【晉】趙武（「兵其少弭矣」）：宋の盟（襄二十七 5）</p> <p>8【楚】子彊（「請以其私卒誘之」）：楚滅舒鳩（* 襄二十五 8）</p> <p>10【楚】巢牛臣（「我獲射之、必殪」）：吳王諸樊卒（* 襄二十五 10）</p> <p>F【衛】大叔儀（「甯子可謂不恤其後矣」）：甯喜卒（襄二十七 3）</p>
襄二十六 547	<p>A【晉】師曠（「公室懼卑」）：晉公室卑（▲）</p> <p>1【衛】公子鱄（「臣懼不免」）：公子鱄出奔（襄二十七 4）</p> <p>1【衛】甯喜（「必子鮮在」）：衛獻公復位（襄二十六 3）</p> <p>1【衛】右宰穀（「死無日矣」「多而能亡」）：甯喜卒（襄二十七 3）・公子鱄出奔（襄二十七 4）</p> <p>C【鄭】公孫揮（「子產其將知政矣」）：公孫僑執政（襄三十 F）</p> <p>7【晉】羊舌肸（「罕氏其後亡者也」）：罕氏（▲）</p> <p>6【宋】太子痤（「吾知死矣」）：太子痤卒（* 襄二十六 6）</p> <p>F【蔡】公孫歸生（「吾必復子」）：伍舉歸國（* 襄二十六 F）</p> <p>9【鄭】公孫僑（「晉、楚將平」）：宋の盟（襄二十七 5）</p> <p>H【周】周靈王（「韓氏其昌阜於晉乎」）：韓氏（▲）</p>
襄二十七 546	<p>1【魯】叔孫豹（「必以惡終」）：慶封出奔（襄二十八 6）</p> <p>5.【楚】伯州犁（「令尹將死矣」）：屈建卒（襄二十八 F）</p> <p>B【晉】趙武（「伯有將爲戮矣」）・羊舌肸（「所謂不及五稔者、夫子之</p>

	<p>謂矣」：良霄出奔（襄三十6）</p> <p>B【晉】趙武（「其餘皆數世之主也。子展其後亡者也、在上不忘降。印氏其次也」）：罕氏・印氏（▲）</p> <p>E【晉】羊舌肸（「蘧氏之有後於楚國也、宜哉」）：蘧氏（▲）</p>
襄二十八 545	<p>1【魯】梓慎（★星氣）：宋饑（襄二十八7）・鄭饑（襄二十八C）</p> <p>B【鄭】公孫僑（「蔡侯其不免乎」）：蔡景侯卒（襄三十2）</p> <p>C【鄭】游吉（「楚子將死矣」）：楚康王卒（襄二十八9）</p> <p>C【鄭】裨竈（★星氣）：周靈王崩（襄二十八D）・楚康王卒（襄二十八9）</p> <p>6【齊】慶舍（★卜筮）／【齊】慶嗣（「禍將作矣」）：慶封出奔（*襄二十八6）</p> <p>6【魯】子服椒（「天殆富淫人」）・叔孫豹（「其將聚而殲旃」）：慶封卒（昭四3）</p> <p>E【魯】叔孫豹（「必得之」）：崔杼の尸（*襄二十八E）</p> <p>7【魯】叔孫豹（「伯有無戾於鄭」）：良霄出奔（襄三十6）</p>
襄二十九 544	<p>B【鄭】公孫揮（「必代之昌」）：楚靈王立（昭元10）</p> <p>2【魯】季公冶（「誰敢違君」）：魯襄公歸國（*襄二十九2）</p> <p>D【晉】羊舌肸（「鄭之罕、宋之樂、其後亡者也」）：罕氏（▲）・樂氏（▲）</p> <p>5【晉】女叔齊（「二子皆將不免」）：高止出奔（襄二十九10）・華氏の亂（昭二十4）</p> <p>8【吳】公子札（「[叔孫豹] 子其不得死乎」「[鄭] 是其先亡乎」「[齊] 國未可量也」「[秦] 夫能夏則大、大之至也、其周之舊乎」「[魏] 以德輔此、則（明）[盟] 主也」「[陳] 其能久乎」「[晏嬰] 難未歇也」「[公孫僑] 難將至矣、政必及子」「[衛] 未有患也」「晉國其萃於三族乎」）：叔孫豹卒（昭四5）・鄭の滅亡（▲）・齊の擡頭（▲）・秦の擡頭（▲）・魏の霸權（▲）・楚滅陳（昭八9）・欒高の亂（昭十2）・良霄出奔（襄三十6）・公孫僑執政（襄三十F）・衛の平和（▲）・韓氏・魏氏・趙</p>

	<p>氏 (▲)</p> <p>F【鄭】裨諶「禍未歇也」「其焉辟子產」：良霄出奔（襄三十6）・公孫僑執政（襄三十F）</p>
襄三十 543	<p>1【魯】叔孫豹（「楚令尹將有大事」）：楚靈王立（昭元10）</p> <p>A【鄭】公孫僑「伯有侈而愎」：良霄出奔（襄三十6）</p> <p>C【-】君子（「君子是以知其不能終」）：良霄出奔（襄三十6）</p> <p>4【周】單公子愆期（「必有此夫」）：王子佖夫の亂（*襄三十4）</p> <p>3【宋】或（★謠言）：宋災（*襄三十3）</p> <p>D【鄭】公孫僑（「陳、亡國也」）：楚滅陳（昭八9）</p> <p>6【鄭】罕虎（「伯有汰侈、故不免」）／【鄭】裨竈（★星氣）：良霄出奔（*襄三十6）</p> <p>E【楚】申無宇（「王子必不免」）：楚靈王卒（昭十三2）</p>
襄三十一 542	<p>A【魯】叔孫豹（「趙孟將死矣」「韓子懦弱」）：趙武卒（昭元I）・平丘の盟（昭十三4）</p> <p>A【魯】叔孫豹（「孟孫將死矣」）：仲孫羯卒（襄三十一4）</p> <p>2【魯】叔孫豹（「必死是宮也」）：魯襄公薨（*襄三十一2）</p> <p>C【魯】叔孫豹（「必爲季氏憂」）／【-】君子（「君子是以知其不能終也」）：魯昭公出奔（昭二十五5）</p> <p>5【魯】子服椒（「滕君將死矣」）：滕成公卒（昭三1）</p> <p>F【吳】屈狐庸（「其在今嗣君乎」）：吳王闔廬立（昭二十七2）</p> <p>G【衛】北宮佗（「鄭有禮、其數世之福也、其無大國之討乎」）：鄭の平和 (▲)</p> <p>J【衛】北宮佗（「令尹似君矣、將有他志」「令尹其將不免」）：楚靈王立（昭元10）・楚靈王卒（昭十三2）</p>
昭元 541	<p>2【魯】叔孫豹（「楚公子美矣、君哉」）：楚靈王立（昭元10）</p> <p>2【鄭】公孫揮（「叔孫絞而婉、宋左師簡而禮、樂王鮒字而敬、子與子家持之、皆保世之主也。齊・衛・陳大夫其不免乎。國子代人憂、子招樂憂、齊子雖憂弗害」）：叔孫豹 (▲)・向戌 (▲)・樂王鮒 (▲)・</p>

	<p>罕虎 (▲)・公孫歸生 (▲)・國弱 (▲)・齊惡 (▲)・公子招出奔 (昭八 9)</p> <p>A【晉】趙武 (「令尹自以爲王矣」)・羊舌肸 (「雖可、不終」)：楚靈王立 (昭元 10)・楚靈王卒 (昭十三 2)</p> <p>B【晉】趙武 (「吾不復此矣」)：趙武卒 (昭元 I)</p> <p>C【周】劉定公 (「趙孟不復年矣」)：趙武卒 (昭元 I)</p> <p>4【晉】女叔齊 (「秦公子必歸」)：公子鍼歸國 (昭五 C)</p> <p>4【秦】公子鍼 (「鮮不五稔」)：秦景公卒 (昭五 7)</p> <p>4【秦】公子鍼 (「趙孟將死矣」)：趙武卒 (昭元 I)</p> <p>6【晉】魏舒 (「彼徒我車、所遇又阨、以什共車、必克。困諸阨、又克」)：晉敗狄 (* 昭元 6)</p> <p>G【鄭】公孫揮 (「弗能久矣」)：公孫黑卒 (昭二 3)</p> <p>H【秦】醫和 (「良臣將死」)：趙武卒 (昭元 I)</p> <p>10【鄭】公孫僑 (「令尹將行大事」)：楚靈王立 (* 昭元 10)</p> <p>10【鄭】公孫僑 (「不數年未能也」)：鄭伯如楚 (昭三 H)</p>
昭二 540	<p>1【晉】韓起 (「非保家之主也」)：欒高の亂 (昭十 2)</p>
昭三 539	<p>A【鄭】游吉 (「今茲吾又將來賀」)：鄭賀晉夫人 (昭三 F)</p> <p>A【晉】張趯 (「晉將失諸侯」)：晉霸解體 (▲)</p> <p>B【齊】晏嬰 (「吾弗知齊其爲陳氏矣」)：陳恆執簡公 (哀十四 3)</p> <p>B【晉】羊舌肸 (「公室之卑、其何日之有」「肸之宗十一族、唯羊舌氏在而已。肸又無子、公室無度、幸而得死、豈其獲祀」)：晉公室卑 (▲)・祁氏・羊舌氏滅亡 (昭二十八 A)</p> <p>I【齊】晏嬰 (「子旗不免」)：欒高の亂 (昭十 2)</p>
昭四 538	<p>A【晉】女叔齊 (「楚王方侈、天或者欲逞其心、以厚其毒、而降之罰、未可知也」)：楚靈王卒 (昭十三 2)</p> <p>A【鄭】公孫僑 (「必來」)：申の會 (昭四 2)</p> <p>2【鄭】公孫僑 (「不過十年」)・【宋】向戌 (「不十年侈、其惡不遠」)：楚靈王卒 (昭十三 2)</p>

	<p>3【楚】申無宇（「楚禍之首將在此矣」）：楚靈王卒（昭十三2）</p> <p>B【鄭】渾罕（「國氏其先亡乎」「姬在列者、蔡及曹・滕其先亡乎、偪而無禮。鄭先衛亡、偪而無法」）：國氏（▲）・楚滅蔡（昭十一10）・宋滅曹（哀八1）・滕の滅亡（▲）・鄭の滅亡（▲）・衛の滅亡（▲）</p> <p>5【魯】叔孫豹（★夢）：叔孫豹卒（*昭四5）</p>
昭五 537	<p>1【魯】卜楚丘（★卜筮）：叔孫豹卒（昭四5）</p> <p>3【晉】女叔齊（「難將及身」）：魯昭公出奔（昭二十五5）</p> <p>A【晉】羊舌肸（「汰侈已甚、身之災也、焉能及人」）：楚靈王卒（昭十三2）</p> <p>8【吳】公子蹇（★卜筮）：楚伐吳（*昭五8）</p>
昭六 536	<p>A【晉】羊舌肸（「終子之世、鄭其敗乎」）：鄭の敗（▲）</p> <p>A【鄭】公孫僑（「不能及子孫、吾以救世也」）：國氏（▲）</p> <p>A【晉】士匄（「鄭其火乎」）：鄭火（昭六B）</p>
昭七 535	<p>A【楚】申無宇（「一國兩君、其誰堪之」）：楚靈王立（昭元10）</p> <p>2【楚】蘧啟疆（「臣能得魯侯」）／【魯】梓慎・子服椒（★夢）：魯昭公如楚（*昭七2）</p> <p>4【晉】士匄（★星氣）：季孫宿卒（昭七5）・衛襄公卒（昭七7）</p> <p>F【鄭】或（★夢）：駟帶・公孫段卒（*昭七F）</p> <p>6【魯】仲孫纘（「今其將在孔丘乎」）：孔子（▲）</p> <p>8【衛】孔圉・史朝（★夢）：衛靈公立（*昭七8）</p>
昭八 534	<p>A【晉】師曠・羊舌肸（★災祥）：平丘の盟（昭十三4）・晉平公卒（昭十4）</p> <p>11【晉】史趙（★星氣）：陳恆執簡公（哀十四3）・楚滅陳（哀十七D）</p>
昭九 533	<p>3【鄭】裨竈（★星氣）：陳の復國（昭十三8）・楚滅陳（哀十七D）</p>
昭十 532	<p>A【鄭】裨竈（★星氣）：晉平公卒（昭十4）</p> <p>3【魯】臧孫紇（「周公其不饗魯祭乎」）：魯昭公出奔（昭二十五5）</p>
昭十一 531	<p>3【周】萇弘（★星氣）：蔡靈侯卒（*昭十一3）・蔡の復國（昭十三8）・楚靈王卒（昭十三2）</p>

	<p>3【蔡】大夫（「不如無往」）：蔡靈侯卒（*昭十一3）</p> <p>4【晉】羊舌肸（「今又誘蔡而殺其君、以圍其國、雖幸而克、必受其咎、弗能久矣」）：楚滅蔡（昭十一10）・楚靈王卒（昭十三2）</p> <p>8【鄭】公孫僑（「蔡必亡矣」「三年、王其有咎乎」）：楚滅蔡（昭十一10）・楚靈王卒（昭十三2）</p> <p>A【晉】羊舌肸（「單子其將死乎」）：單成公卒（昭十一B）</p> <p>9【晉】史趙（★名）・羊舌肸（「殆其失國」）：魯昭公出奔（昭二十五5）</p> <p>10【楚】申無宇（「王必悔之」）：楚靈王卒（昭十三2）</p> <p>C【楚】申無宇（「今棄疾在外、鄭丹在內、君其少戒」）：楚平王立（昭十三3）</p>
昭十二 530	<p>3【魯】叔孫婁（「必亡」）：華氏の亂（昭二十4）</p> <p>8【魯】子服椒（★卜筮）：費の叛（*昭十二8）</p> <p>9【-】仲尼（「楚靈王若能如是、豈其辱於乾谿」）：楚靈王卒（昭十三2）</p>
昭十三 529	<p>1【魯】冶區夫（「南氏亡矣」）：費人叛南氏（昭十四A）</p> <p>2【楚】楚靈王（「大福不再、祇取辱焉」）：楚靈王卒（*昭十三2）</p> <p>3【楚】觀從（「猶受禍也」）：公子比卒（*昭十三3）</p> <p>3【楚】楚靈王（★卜筮）：楚靈王卒（昭十三2）</p> <p>3【楚】楚共王（★群望）：楚康王立（襄十三3）・楚靈王立（昭元10）・公子比卒（*昭十三3）・楚平王立（*昭十三3）</p> <p>3【晉】羊舌肸（「難」「有楚國者、其棄疾乎」）：公子比卒（*昭十三3）・楚平王立（*昭十三3）</p> <p>4【晉】羊舌肸（「亦將及矣」）：羊舌鮒卒（昭十四D）</p> <p>11【楚】楚平王（「州來在吳、猶在楚也」）：楚城州來（昭十九F）</p>
昭十四 528	
昭十五 527	<p>2【魯】梓慎（★星氣）：叔弓卒（*昭十五2）</p> <p>C【周】周景王（「籍父其無後乎」）：籍氏滅（定十四B）</p> <p>C【晉】羊舌肸（「王其不終乎」）：周景王崩（昭二十二4）</p>

昭十六 526	<p>C【晉】韓起（「二三君子、數世之主也」）：鄭（▲）</p> <p>3【魯】子服回（「晉之公室其將遂卑矣」）：晉公室卑（▲）</p>
昭十七 525	<p>2【魯】叔孫婁（「夫子將有異志、不君君矣」）：魯昭公出奔（昭二十五 5）</p> <p>4【周】襄弘（「其伐戎乎」）：晉滅陸渾（* 昭十七 4）</p> <p>5【魯】申須・梓慎（★星氣）／【鄭】裨竈（★星氣）：宋衛陳鄭災（昭十八 2）</p> <p>6【楚】公子魴（★卜筮）：長岸の戦（* 昭十七 6）</p>
昭十八 524	<p>A【周】襄弘（「毛得必亡」）：王子朝出奔（昭二十六 7）</p> <p>2【魯】梓慎（★星氣）／【鄭】裨竈（★星氣）：宋衛陳鄭火（* 昭十八 2）</p> <p>2【－】君子（「君子是以知陳許之先亡也」）：楚滅陳（哀十七 D）・鄭滅許（定六 1）</p> <p>4【魯】閔子馬（「周其亂乎」「原氏其亡乎」）：・王子朝の亂（昭二十二 6）・召伯盈・尹氏固・原伯魯之子卒（昭二十九 A）</p>
昭十九 523	<p>A【魯】叔孫婁（「楚不在諸侯矣、…」）：吳入郢（定四 15）</p> <p>F【楚】沈尹戌（「楚人必敗」）：吳入郢（定四 15）</p>
昭二十 522	<p>A【魯】梓慎・叔孫婁（★星氣）：華氏の亂（昭二十 4）・蔡平侯卒（昭二十 5）</p> <p>B【楚】費無極（「必憂楚國」）・伍尚（「爾能報」）・伍奢（「楚君、大夫其盱食乎」）：吳入郢（定四 15）</p> <p>B【吳】伍員（「彼將有他志」）：吳王闔廬立（昭二十七 2）</p> <p>G【鄭】公孫僑（「唯有德者能以寬服民、其次莫如猛」）：鄭盜（* 昭二十 G）</p>
昭二十一 521	<p>A【周】泠州鳩（★鐘）：周景王崩（昭二十二 4）</p> <p>1【魯】叔孫婁（「是君也必不終」）：蔡侯朱出奔（昭二十一 6）</p> <p>5【魯】叔孫婁（「子叔將死」）：叔輒卒（* 昭二十一 5）</p>
昭二十二 520	<p>4【周】賓孟（★災祥）：王子朝の亂（昭二十二 6）</p>

	6【魯】閔馬父（「子朝必不克」）：王子朝出奔（昭二十六 7）
昭二十三 519	7【吳】公子光（「楚可敗也」）：雞父の戦（* 昭二十三 7） 9【周】萇弘（★災祥）：王子朝出奔（昭二十六 7） B【楚】沈尹戌（「子常必亡郢」）：吳入郢（定四 15）
昭二十四 518	3【魯】梓慎・叔孫婁（★星氣）：旱（昭二十四 4） 6【楚】沈尹戌（「楚必亡邑」）：吳滅巢（* 昭二十四 6） 6【楚】沈尹戌（「亡郢之始於此在矣」）：吳入郢（定四 15）
昭二十五 517	1【魯】叔孫婁（「右師其亡乎」）：樂大心出奔（定十 8） 1【宋】樂祁（「今茲君與叔孫其皆死乎」「魯君必出」）：宋元公卒（昭二十五 7）・叔孫婁卒（昭二十五 6）・魯昭公出奔（昭二十五 5） 2【晉】士彌牟（「宋右師必亡」）：樂大心出奔（定十 8） 3【魯】師己（★謠言）：魯昭公出奔（昭二十五 5） 5【魯】子家羈（「君必悔之」）：魯昭公出奔（* 昭二十五 5） 7【宋】宋元公（「獲保首領以歿」）：宋元公卒（* 昭二十五 7） C【鄭】游吉（「楚王將死矣」）：楚平王卒（昭二十六 6）
昭二十六 516	7【周】王子朝（★災祥）：王子朝の亂（昭二十二 6） E【齊】晏嬰（「其陳氏乎」）：陳恆執簡公（哀十四 3）
昭二十七 515	A【魯】子家羈（「其死於此乎」）：魯昭公薨（昭三十二 6）
昭二十八 514	A【晉】羊舌肸母（★相）：祁氏羊舌氏滅（* 昭二十八 A） C【-】仲尼（「其長有後於晉國乎」）：魏氏（▲）
昭二十九 513	A【周】婦人（「是夫也、其過三歲乎」）：召伯盈・尹氏固・原伯魯之子卒（* 昭二十九 A） B【-】仲尼（「晉其亡乎」）：晉の滅亡（▲） C【晉】蔡史墨（「范氏・中行氏其亡乎」）：范中行之亂（定十三 6）
昭三十 512	4【楚】公子申（「使翦喪吳國而封大異姓乎」）：越滅吳（哀二十 B） A【吳】伍員（「必大克之」）：吳入郢（定四 15）
昭三十一 511	7【晉】蔡史墨（★夢・星氣）：吳入郢（定四 15）
昭三十二 510	3【晉】史墨（★星氣）：越滅吳（哀二十二 B）

	5 <u>【衛】彪傒</u> （「魏子必有大咎」）：魏舒卒（定元 1） 6 <u>【晉】蔡史墨</u> （★卜筮）：季氏（▲）
定元 509	1 <u>【衛】彪傒</u> （「魏子其不免乎」）：魏舒卒（* 定元 1） 1 <u>【晉】女叔寬</u> （「周萇弘、齊高張皆將不免」）：萇弘卒（哀三 A）・高張出奔（哀六 4）
定二 508	
定三 507	B <u>【蔡】蔡昭侯</u> （「余所有濟漢而南者、有若大川」）：吳入郢（定四 15）
定四 506	14 <u>【吳】夫槩王</u> （「先伐之、其卒必奔。而後大師繼之、必克」）：柏舉の戦（* 定四 14） 15 <u>【吳】夫槩王</u> （「半濟而後可擊也」）：雍澁の戦（* 定四 15） 15 <u>【吳】伍員</u> （「我必復楚國」）：吳入郢（* 定四 15） 15 <u>【楚】申包胥</u> （「我必能興之」）：秦救楚（定五 B）
定五 505	D <u>【楚】鬬辛</u> （「有亂、則必歸」）：吳の撤兵（定五 B）
定六 504	2 <u>【衛】公叔發</u> （「天將多陽虎之罪以斃之」）：陽虎出奔（定八 16） 4 <u>【魯】仲孫何忌</u> （「陽虎若不能居魯、而息肩於晉、所不以爲中軍司馬者、有如先君」）：陽虎出奔（定八 16） 5 <u>【宋】陳寅</u> （「然子死晉國、子孫必得志於宋」）：樂祁抑留（* 定六 5）
定七 503	
定八 502	16 <u>【魯】公斂處父</u> （「然則亂也」）：陽虎出奔（* 定八 16）
定九 501	3 <u>【-】仲尼</u> （「趙氏其世有亂乎」）：趙氏（▲）
定十 500 ～定十一 499	
定十二 498	10 <u>【魯】公斂處父</u> （「我將不墜」）：圍成不克（* 定十二 10）
定十三 497	5 <u>【晉】董安于</u> （「寧我獨死」）：董安于卒（定十四 A） A <u>【衛】史鰌</u> （「子必禍矣」）：公叔戌出奔（定十四 1）
定十四 496	
定十五 495	1 <u>【魯】端木賜</u> （「二君者、皆有死亡焉」）：魯入邾（哀七 4）・魯定公薨（定十五 5）

哀元 494	A【吳】伍員（「吳其爲沼乎」）：越滅吳（哀二十二 B） C【陳】逢滑（「禍之適吳、其何日之有」）：越滅吳（哀二十二 B） D【楚】公子申（「夫先自敗也已」）：越滅吳（哀二十二 B）
哀二 493	4【晉】陽虎（「右河而南、必至焉」）：蒯聵入戚（* 哀二 4） 5【晉】陽虎（「必大敗之」）：鐵の戦（* 哀二 5）
哀三 492	3【魯】孔子（「其桓・僖乎」）：魯災（* 哀三 3）
哀四 491 ～哀五 490	
哀六 489	6【楚】楚昭王（★卜筮）／【周】周大史（★星氣）：楚昭王卒（* 哀六 6）
哀七 488	3【魯】子服何（「吳將亡矣」）：越滅吳（哀二十二 B） 6【曹】或（★夢）：宋滅曹（哀八 1）
哀八 487 ～哀十 485	
哀十一 484	3【齊】陳乞（「爾死、我必得志」）・公孫夏（「二子必死」）：艾陵の戦（* 哀十一 3） A【吳】伍員（「吳其亡乎」）：越滅吳（哀二十二 B）
哀十二 483	4【衛】公孫彌牟（「君必不免、其死於夷乎」）：衛出公卒（▲）
哀十三 482	A【晉】司馬寅（「國勝乎。太子死乎」）：越伐吳（哀十三 5）
哀十四 481	3【齊】諸御鞅（「陳・闕不可竝也」）：陳恆執簡公（* 哀十四 3）
哀十五 480	B【衛】仲由（「天或者以陳氏爲斧斤、既斲喪公室、而他人有之、不可知也。其使終饗之、亦不可知也」）：陳氏（▲） C【魯】孔子（「由也死矣」）：仲由卒（* 哀十五 C）
哀十六 479	3【魯】端木賜（「君其不沒於魯乎」）：魯哀公出奔（哀二十七 D） C【楚】沈諸梁（「子必悔之」）：白公勝の亂（* 哀十六 C） D【衛】嬖人（★卜筮）：大叔遺出奔（* 哀十六 D）
哀十七 478	F【衛】衛莊公（★夢）：衛莊公卒（* 哀十七 F）
哀十八 477	

～哀十九 476	
哀二十 475	B【吳】公子慶父（「不改、必亡」）：越滅吳（哀二十二 B）
哀二十一 474 ～哀二十五 470	
哀二十六 469	B【宋】公子得（★夢）：宋昭公立（* 哀二十六 B） C【魯】端木賜（「今君再在孫矣、内不聞獻之親、外不聞成之卿、則賜不識所由入也」）：衛出公卒（▲）
哀二十七 468	C【齊】陳恆（「知伯其能久乎」）：知伯滅（▲） D【魯】魯哀公（「余及死乎」）：魯哀公出奔（* 哀二十七 D）

ついで、豫言された事件を一覧したものが、表2である。章番號のあとに事件の名、：のあとは豫言であり、豫言者のあとの（ ）には豫言を含む年次・章番號を表記している。複数回豫言された事件は太字で示している。

表2 豫言された事件

隱元 722BC	3 大叔段の亂：【鄭】鄭莊公（* 隱元 3）
隱二 721 ～隱三 720	
隱四 719	2 州吁の亂：【衛】石碏（隱三 B） 6 州吁卒：【魯】衆仲（隱四 4）
隱五 718 ～隱八 715	
隱九 714	A 北戎侵鄭：【鄭】公子突（* 隱九 A）
隱十 713 ～桓元 711	
桓二 710	A 晉の内戦：【晉】師服（* 桓二 A）
桓三 709 ～桓四 708	

桓五 707	1 公子佗の亂：【鄭】洩伯（隱七 A） 6 繻葛の戰：【－】君子（隱三 A）・【周】周桓公（隱六 D）・【－】君子（隱十一 A）・【鄭】子元（* 桓五 6）
桓六 706 ～桓九 703	
桓十 702	1 曹桓公卒：【魯】施父（桓九 4）
桓十一 701	A 鄧伐楚：【楚】鬬廉（桓十一 A） 4 鄭厲公立：【鄭】祭仲（桓十一 2）
桓十二 700	A 楚伐絞：【楚】屈瑕（* 桓十二 A）
桓十三 699	A 屈瑕卒：【楚】鬬伯比・鄧曼（* 桓十三 A）
桓十四 698	
桓十五 697	6 許の復國：【鄭】鄭莊公（隱十一 3）
桓十六 696	
桓十七 695	A 鄭公子臺立：【鄭】祭仲（桓十一 2）
桓十八 694	2 魯桓公薨：【魯】申繻（* 桓十八 2） A 高彌渠卒：【魯】公子達（桓十七 A） A 鄭公子儀立：【鄭】祭仲（桓十一 2） B 王子克の亂：【周】辛伯（* 桓十八 B）
莊元 693 ～莊三 691	
莊四 690	A 楚武王卒：【楚】鄧曼（* 莊四 A）
莊五 689	
莊六 688	A 楚滅鄧：【鄧】三甥（* 莊六 A）
莊七 687 ～莊九 685	
莊十 684	1 齊伐魯：【魯】曹劌（* 莊十 1） 4 郎の戰：【魯】公子偃（* 莊十 4） 5 楚伐蔡：【息】息侯（* 莊十 5）

莊十一 683	
莊十二 682	4 宋桓公立：【魯】臧孫達（莊十一 3）
莊十三 681	
莊十四 680	3 楚滅息：【－】君子（隱十一 B）
莊十五 679 ～莊二十 674	
莊二十一 673	2 王子頹の亂：【鄭】鄭厲公（莊二十 A） 2 鄭厲公卒：【周】原伯（* 莊二十一 2）
莊二十二 672 ～莊二十四 670	
莊二十五 669	A 桓莊之族滅：【晉】士蒍（莊二十四 A）
莊二十六 668 ～莊三十一 663	
莊三十二 662	3 公子般卒：【魯】魯莊公（* 莊三十二 3）
閔元 661	
閔二 660	4 公子慶父卒：【齊】仲孫湫（閔元 5） 4 哀姜薨：【魯】禦孫（莊二十四 5）
僖元 659 ～僖三 657	
僖四 656	A 太子申生卒：【晉】士蒍（閔元 A）・【晉】里克・狐突（閔二 C）・【晉】 卜人（* 僖四 A）
僖五 655	1 公子重耳出奔：【晉】士蒍（* 僖五 1） 8 晉滅虢：【晉】士蒍（莊二十七 A）・【周】內史過（莊三十二 A）・【虢】 史嚚（莊三十二 A）・【虢】舟之僑（閔二 A）・【晉】卜偃（僖二 B）・【晉】 卜偃（* 僖五 8） 8 晉滅虞：【晉】荀息（僖二 3）・【虞】宮之奇（* 僖五 8）
僖六 654	A 公子夷吾出奔：【晉】士蒍（僖五 1） 2 齊伐鄭：【鄭】孔叔（僖三 7）・【鄭】孔叔（僖五 5）

僖七 653	3 申侯卒：【楚】楚文王（* 僖七 3）
僖八 652	2 晉敗狄：【晉】虢射（* 僖八 2）
僖九 651	6 荀息卒：【晉】荀息（僖九 5）
僖十 650	5 晉惠公立：【周】宰孔（僖九 4）
僖十一 649 ～僖十四 646	
僖十五 645	12a 韓の戦：【秦】公孫枝（僖九 B）・【晉】太子申生（僖十 A）・【晉】 ト偃（僖十四 3）・【晉】慶鄭（僖十四 A）・【秦】ト徒父（* 僖十五 12a）・【晉】慶鄭（* 僖十五 12a）・【晉】韓簡（* 僖十五 12a）・【晉】 史蘇（* 僖十五 12a）
僖十六 644	2 公子友卒：【周】内史叔興（僖十六 1） 4 公孫茲卒：【周】内史叔興（僖十六 1） D 太子華卒：【齊】管夷吾（* 僖七 4）
僖十七 643	A 太子圉質：【晉】史蘇（僖十五 12a）・【梁】ト招父（* 僖十七 A） 4 齊桓公卒：【周】内史叔興（僖十六 1）・【齊】役人（僖十六 5）
僖十八 642	
僖十九 641	5 衛伐邢：【衛】甯速（* 僖十九 5）
僖二十 640 ～僖二十一 639	
僖二十二 638	A 陸渾の戎：【周】辛有（* 僖二十二 A） B 太子圉歸國：【晉】史蘇（僖十五 12a） C 王子帶歸國：【齊】仲孫湫（僖十三 A） 3 邾伐魯：【魯】臧孫辰（* 僖二十二 3） 4 泓の戦：【周】内史叔興（僖十六 1）・【宋】公子目夷（僖十九 3）・【魯】 臧孫辰（僖二十 A）・【宋】公子目夷（僖二十一 2）・【宋】公子目夷（僖 二十一 4）・【宋】公子目夷（僖二十一 7）・【宋】公子目夷（僖二十二 2）・【宋】公孫固（* 僖二十二 4）
僖二十三 637	

僖二十四 636	<p>A 晉懷公卒：【周】 內史過（僖十一 A）・【晉】 史蘇（僖十五 12a）・【晉】 卜偃（僖二十三 A）</p> <p>A 晉文公立：【秦】 秦穆公（僖十五 12b）・【曹】 僖負羈之妻（僖二十三 B）・【鄭】 叔詹（僖二十三 B）・【楚】 楚成王（僖二十三 B）</p> <p>2 王子帶の亂：【周】 富辰（* 僖二十四 2）</p>
僖二十五 635	<p>1 衛滅邢：【衛】 禮至（僖二十四 E）</p> <p>A 王子帶の亂平定：【晉】 卜偃（* 僖二十五 A）</p>
僖二十六 634 ～僖二十七 633	
僖二十八 632	<p>1 晉取五鹿：【晉】 狐偃（僖二十三 B）</p> <p>3 晉入曹：【曹】 僖負羈之妻（僖二十三 B）</p> <p>3 晉分曹衛之田：【晉】 先軫（* 僖二十八 3）</p> <p>4 城濮の戦：【晉】 公子重耳（僖二十三 B）・【晉】 狐偃（僖二十七 5）・【楚】 楚成王（* 僖二十八 4）・【晉】 狐偃（* 僖二十八 4）</p> <p>5 成得臣卒：【楚】 蔣賈（僖二十七 5）・【一】 河神（* 僖二十八 5）・【楚】 范巫騫似（文十 3）</p> <p>7 踐土の盟：【齊】 姜氏（僖二十三 B）・【晉】 趙衰（僖二十三 B）</p>
僖二十九 631	
僖三十 630	<p>4 秦鄭講和：【鄭】 佚之狐（* 僖三十 4）</p> <p>4 大子蘭立：【鄭】 伯鯨（宣三 7）</p>
僖三十一 629	1 分曹地：【魯】 重館人（* 僖三十一 1）
僖三十二 628	
僖三十三 627	3 穀の戦：【晉】 卜偃（僖三十二 4）・【秦】 蹇叔（僖三十二 4）・【周】 王孫滿（僖三十三 1）
文元 626	10 楚成王卒：【鄭】 叔詹（僖二十二 D）・【楚】 鬬勃（* 文元 10）・【楚】 范巫騫似（文十 3）
文二 625	1 彭衙の戦：【秦】 孟明（僖三十三 A）
文三 624	3 秦伐晉：【晉】 趙盾（文二 1）

文四 623 ～文五 622	
文六 621	4 晉襄公卒：【魯】季孫行父（文六 3） 6a 陽處父卒：【晉】甯衛（文五 A）
文七 620	4 宋の内亂：【宋】樂豫（* 文七 4） 5 先蔑奔秦：【晉】荀林父（* 文七 5）
文八 619 ～文九 618	
文十 617	3 鬬宜申卒：【楚】范巫喬似（* 文十 3）
文十一 616	
文十二 615	7 河曲の戦：【晉】士會（* 文十二 7）
文十三 614	3 邾文公卒：【邾】史（* 文十三 3）
文十四 613	8 公孫敖卒：【周】內史叔服（文元 3）
文十五 612	4 齊歸公孫敖之喪：【齊】或（* 文十五 4）
文十六 611	5 楚滅庸：【楚】蔣賈・潘尫（* 文十六 5） 6 宋昭公卒：【周】內史叔服（文十四 5）・【宋】公孫壽（* 文十六 6）
文十七 610	
文十八 609	1 魯文公薨：【魯】卜楚丘（* 文十八 1） 3 齊懿公卒：【周】內史叔服（文十四 5）・【魯】季孫行父（文十五 11）・【魯】公子遂（文十七 6）・【齊】醫（文十八 1）・【魯】卜楚丘（文十八 1） 6 叔仲彭生卒：【魯】公冉務人（* 文十八 6） 7 出姜大歸：【－】君子（文四 2）
宣元 608	12 晉侵崇：【晉】趙穿（* 宣元 12）
宣二 607	4 晉靈公卒：【周】內史叔服（文十四 5）
宣三 606	
宣四 605	A 若敖氏滅：【魯】叔仲彭生（文九 12）・【晉】趙盾（宣二 3）・【楚】鬬穀於菟（* 宣四 A）

宣五 604	
宣六 603	E 公子曼卒：王子伯廖 (* 宣六 E)
宣七 602 ～宣十一 598	
宣十二 597	2 楚圍鄭：【鄭】 公子去疾 (宣九 10) 3 邲の戦：【晉】 荀首 (* 宣十二 3) ・【楚】 伍参 (* 宣十二 3) ・【晉】 郤克 (* 宣十二 3)
宣十三 596	4 先穀卒：【晉】 荀首 (宣十二 3)
宣十四 595	1 孔達卒：【衛】 孔達 (宣十二 7) 3 楚圍宋：【楚】 申舟 (文十 7) ・【楚】 申舟・楚莊王 (* 宣十四 4)
宣十五 594	2 楚宋講和：【楚】 申叔時 (* 宣十五 2)
宣十六 593 ～宣十七 592	
宣十八 591	8 公孫歸父出奔：【齊】 晏弱 (宣十八 6)
成元 590	A 周伐戎：【周】 內史叔服 (成元 A)
成二 589	3 鞏の戦：【晉】 郤克 (宣十七 6) ・【晉】 士會 (宣十七 A) ・【晉】 韓厥 (* 成二 3) A 屈巫出奔：【楚】 申叔跪 (* 成二 A)
成三 588	
成四 587	9 欒書執政：【晉】 趙朔 (宣十二 3)
成五 586	A 趙嬰齊出奔：【晉】 士渥濁 (* 成五 A)
成六 585	7 鄭悼公卒：【晉】 士渥濁 (成六 A)
成七 584	
成八 583	6 趙同卒：【周】 劉康公 (宣十五 B) ・【晉】 趙嬰齊 (成五 A)
成九 582	2 蒲の盟：【魯】 季孫行父 (成八 1) 11 楚伐莒：【晉】 屈巫 (成八 A)
成十 581	3 鄭成公歸國：【鄭】 公孫申 (成九 13) 5 晉景公卒：【魯】 季孫行父 (成四 5) ・【晉】 桑田之巫 (* 成十 5) ・【秦】

	醫緩 (* 成十 5)
成十一 580	E 秦背盟：【秦】士燮 (* 成十一 E)
成十二 579	
成十三 578	2b 成肅公卒：【周】劉康公 (成十三 2a) 3 麻隧の戦：【魯】仲孫蔑 (* 成十三 3)
成十四 577	
成十五 576	7 向戌爲左師：【宋】魚石 (* 成十五 7) A 伯宗卒：【晉】伯宗妻 (* 成十五 A)
成十六 575	6 鄆陵の戦：【晉】荀罃 (成三 A)・【晉】士燮 (成十三 A)・【魯】仲孫蔑 (成十六 5)・【楚】申叔時 (* 成十六 6)・【鄭】姚句耳 (* 成十六 6)・【晉】欒書 (* 成十六 6)・【晉】卻至 (* 成十六 6)・【晉】苗賁皇 (* 成十六 6)・【晉】史 (* 成十六 6)・【晉】呂錡 (* 成十六 6) 7 公子側卒：【楚】申叔時 (成十五 6)
成十七 574	10 公孫嬰卒：【魯】公孫嬰 (* 成十七 10) 13 郤氏滅：【魯】仲孫蔑 (成十三 1)・【衛】甯殖 (成十四 2)・【晉】韓厥 (成十五 A)・【周】單襄公 (成十六 E)
成十八 573	2 晉厲公卒：【晉】士燮 (成十七 A)・【晉】長魚矯 (成十七 13) 13 虛扞の盟：【宋】西鉏吾 (成十八 5)
襄元 572 ～襄二 571	
襄三 570	1 公子嬰齊卒：【晉】屈巫 (成七 7)
襄四 569 ～襄六 567	
襄七 566	10 陳叛晉：【晉】士匄 (襄五 9)
襄八 565	
襄九 564	3 穆姜薨：【魯】史・穆姜 (* 襄九 3)
襄十 563	2 晉侯疾：【晉】荀罃 (* 襄十 2) A 衛伐鄭：【衛】定姜 (* 襄十 A)

	8 公子駢・公子發・公孫輒卒：【魯】仲孫蔑（襄十 B）
襄十一 562	8 蕭魚の會：【鄭】公孫僑（襄八 3）
襄十二 561	3 楚康王立：【楚】楚共王（昭十三 3）
襄十三 560	B 庸浦の戰：【楚】養由基（襄十三 B）
襄十四 559	5 衛獻公出奔：【衛】定姜（成十四 6）
襄十五 558 ～襄十七 556	
襄十八 555	4 圍齊の役：【晉】梗陽之巫皋（襄十八 3） 6 楚伐鄭：【晉】師曠・董叔・羊舌肸（* 襄十八 6）
襄十九 554	8 齊莊公立：【齊】仲子（* 襄十九 8） 11 高厚卒：【晉】士渥濁（襄十 1）
襄二十 553	2 澶淵の盟：【晉】欒盈（襄十九 A）
襄二十一 552	4 欒盈出奔：【晉】士鞅（襄十四 3）・【晉】羊舌肸（* 襄二十一 4）・【晉】羊舌肸母（* 襄二十一 4）
襄二十二 551	
襄二十三 550	5 慶氏滅：【陳】公子黃（襄二十 6） 6 欒盈反攻：【晉】樂王鮒（* 襄二十三 6） 7 齊伐晉：【齊】晏嬰（襄二十三 7） 9 公鉏氏：【魯】閔子馬（* 襄二十三 9） 10 臧孫紇出奔：【魯】臧孫紇（襄二十三 9） 11 欒盈卒：【晉】胥午・欒盈（襄二十三 6）
襄二十四 549	8 晉伐齊：【齊】陳須無（襄二十四 8）
襄二十五 548	2 齊莊公卒：【晉】士渥濁（襄十 1）・【晉】羊舌肸（襄二十一 8）・【齊】晏嬰（襄二十二 C）・【齊】晏嬰・崔杼（襄二十三 7）・【魯】孟公綽（襄二十五 1）・【齊】陳須無（* 襄二十五 2） 2 申鮮虞出奔：【齊】申鮮虞（* 襄二十五 2） 8 楚滅舒鳩：【楚】子彊（* 襄二十五 8） 10 吳王諸樊卒：【楚】巢牛臣（* 襄二十五 10）

	E 程鄭卒：【鄭】公孫揮（襄二十四 C）
襄二十六 547	2 孫林父出奔：【魯】叔孫豹（襄七 7） 3 衛殤公卒：【晉】羊舌肸（襄二十一 8） 3 衛獻公復位：【魯】厚成叔（襄十四 4）・【魯】臧孫紇（襄十四 4）・【衛】甯殖（襄二十 A）・【衛】甯喜（襄二十六 1） 6 太子痤卒：【宋】太子痤（* 襄二十六 6） F 伍舉歸國：【蔡】公孫歸生（* 襄二十六 F）
襄二十七 546	3 甯喜卒：【衛】大叔儀（襄二十五 F）・【衛】右宰穀（襄二十六 1） 5 宋の盟：【晉】趙武（襄二十五 B）・【鄭】公孫僑（襄二十六 9） D 崔杼卒：【齊】陳須無（襄二十三 7） 4 公子鱗出奔：【衛】公子鱗（襄二十六 1）・【衛】右宰穀（襄二十六 1）
襄二十八 545	2 石惡出奔：【衛】孔炰鉏（襄十九 E） C 鄭饑：【魯】梓慎（襄二十八 1） 6 慶封出奔：【魯】叔孫豹（襄二十七 1）・【齊】慶舍（* 襄二十八 6）・【齊】慶嗣（* 襄二十八 6） D 周靈王崩：【鄭】裨竈（襄二十八 C） E 崔杼の尸：【魯】叔孫豹（* 襄二十八 E） 7 宋饑：【魯】梓慎（襄二十八 1） 9 楚康王卒：【鄭】游吉（襄二十八 C）・【鄭】裨竈（襄二十八 C） F 屈建卒：【楚】伯州犁（襄二十七 5）
襄二十九 544	2 魯襄公歸國：【魯】季公冶（* 襄二十九 2） 10 高止出奔：【晉】女叔齊（襄二十九 5）
襄三十 543	2 蔡景侯卒：【鄭】公孫僑（襄二十八 B） 4 王子佞夫の亂：【周】單公子衍期（* 襄三十 4） 3 宋災：【宋】或（* 襄三十 3） 6 良霄出奔：【晉】趙武・羊舌肸（襄二十七 B）・【魯】叔孫豹（襄二十八 7）・【吳】公子札（襄二十九 8）・【鄭】裨竈（襄二十九 F）・【鄭】公孫僑（襄三十 A）・【一】君子（襄三十 C）・【鄭】罕虎（* 襄三十 6）・

	<p>【鄭】裨竈 (* 襄三十 6)</p> <p>F 公孫僑執政：【鄭】公孫揮 (襄二十六 C)・【吳】公子札 (襄二十九 8)・</p> <p>【鄭】裨竈 (襄二十九 F)</p>
襄三十一 542	<p>2 魯襄公薨：【魯】叔孫豹 (* 襄三十一 2)</p> <p>4 仲孫羯卒：【魯】叔孫豹 (襄三十一 A)</p>
昭元 541	<p>6 晉敗狄：【晉】魏舒 (* 昭元 6)</p> <p>10 楚靈王立：【鄭】公孫揮 (襄二十九 B)・【魯】叔孫豹 (襄三十 1)・</p> <p>【衛】北宮佗 (襄三十一 J)・【魯】叔孫豹 (昭元 2)・【晉】趙武・羊</p> <p>舌肸 (昭元 A)・【鄭】公孫僑 (* 昭元 10)・【楚】申無宇 (昭七 A)・【楚】</p> <p>楚共王 (昭十三 3)</p> <p>I 趙武卒：【魯】叔孫豹 (襄三十一 A)・【晉】趙武 (昭元 B)・【周】</p> <p>劉定公 (昭元 C)・【秦】公子鍼 (昭元 4)・【秦】醫和 (昭元 H)</p>
昭二 540	<p>3 公孫黑卒：【鄭】公孫揮 (昭元 G)</p>
昭三 539	<p>1 滕成公卒：【魯】子服椒 (襄三十一 5)</p> <p>F 鄭賀晉夫人：【鄭】游吉 (昭三 A)</p> <p>H 鄭伯如楚：【鄭】公孫僑 (昭元 10)</p>
昭四 538	<p>2 申の會：【鄭】公孫僑 (昭四 A)</p> <p>3 慶封卒：【魯】子服椒・叔孫豹 (襄二十八 6)</p> <p>5 叔孫豹卒：【吳】公子札 (襄二十九 8)・【魯】叔孫豹 (* 昭四 5)・【魯】</p> <p>卜楚丘 (昭五 1)</p>
昭五 537	<p>7 秦景公卒：【秦】公子鍼 (昭元 4)</p> <p>8 楚伐吳：【吳】公子蹇 (* 昭五 8)</p> <p>C 公子鍼歸國：【晉】女叔齊 (昭元 4)</p>
昭六 536	<p>B 鄭火：【晉】士匄 (昭六 A)</p>
昭七 535	<p>2 魯昭公如楚：【魯】臧孫許 (成二 9)・【楚】薳啟疆 (* 昭七 2)・【魯】</p> <p>梓慎・子服椒 (* 昭七 2)</p> <p>5 季孫宿卒：【晉】士匄 (昭七 4)</p> <p>7 衛襄公卒：【晉】士匄 (昭七 4)</p>

	F 駟帶・公孫段卒：【鄭】或（* 昭七 F） 8 衛靈公立：【衛】孔圉・史朝（* 昭七 8）
昭八 534	9 楚滅陳：【周】周史（莊二十二 3）・【魯】臧孫紇（襄四 1）・【吳】公子札（襄二十九 8）・【鄭】公孫僑（襄三十 D） 9 公子招出奔：【鄭】公孫揮（昭元 2）
昭九 533	
昭十 532	2 欒高の亂：【吳】公子札（襄二十九 8）・【晉】韓起（昭二 1）・【齊】晏嬰（昭三 I） 2 陳氏始大：【齊】懿氏妻（莊二十二 3）・【周】周史（莊二十二 3） 4 晉平公卒：【晉】師曠・羊舌肸（昭八 A）
昭十一 531	3 蔡靈侯卒：【周】萇弘（* 昭十一 3）・【蔡】大夫（* 昭十一 3） 10 楚滅蔡：【鄭】渾罕（昭四 B）・【晉】羊舌肸（昭十一 4）・【鄭】公孫僑（昭十一 8） B 單成公卒：【晉】羊舌肸（昭十一 A）
昭十二 530	8 費の叛：【魯】子服椒（* 昭十二 8）
昭十三 529	2 楚靈王卒：【楚】申無宇（襄三十 E）・【衛】北宮佗（襄三十一 F）・【晉】趙武・羊舌肸（昭元 A）・【晉】女叔齊（昭四 A）・【鄭】公孫僑・【宋】向戌（昭四 2）・【楚】申無宇（昭四 3）・【晉】羊舌肸（昭五 A）・【周】萇弘（昭十一 3）・【晉】羊舌肸（昭十一 4）・【鄭】公孫僑（昭十一 8）・【楚】申無宇（昭十一 10）・【一】仲尼（昭十二 9）・【楚】楚靈王（* 昭十三 2）・【楚】楚靈王（昭十三 2） 3 公子比卒：【楚】觀從（* 昭十三 3）・【楚】楚共王（* 昭十三 3）・【晉】羊舌肸（* 昭十三 3） 3 楚平王立：【楚】申無宇（昭十一 C）・【楚】楚共王（* 昭十三 3）・【晉】羊舌肸（* 昭十三 3） 4 平丘の盟：【魯】叔孫豹（襄三十一 A）・【晉】師曠・羊舌肸（昭八 A） 8 蔡の復國：【鄭】裨竈（昭九 3）・【周】萇弘（昭十一 3）
昭十四 528	A 費人叛何氏：【魯】冶區夫（昭十三 1）

	D 羊舌鮒卒：【晉】羊舌肸（昭十三 4）
昭十五 527	2 叔弓卒：【魯】梓慎（* 昭十五 2）
昭十六 526	
昭十七 525	4 晉滅陸渾：【周】萇弘（* 昭十七 4）
昭十八 524	2 宋衛陳鄭災：【魯】申須・梓慎（昭十七 5）・【鄭】裨竈（昭十七 5）・ 【魯】梓慎（* 昭十八 2）・【鄭】裨竈（* 昭十八 2） 6 長岸の戦：【楚】公子魴（昭十七 6）
昭十九 523	F 楚城州來：【楚】楚平王（昭十三 11）
昭二十 522	4 華氏の亂：【晉】女叔齊（襄二十九 5）・【魯】叔孫婁（昭十二 3）・【魯】 梓慎・叔孫婁（昭二十 A） 5 蔡平侯卒：【魯】梓慎・叔孫婁（昭二十 A） G 鄭盜：【鄭】公孫僑（* 昭二十 G）
昭二十一 521	5 叔輒卒：【魯】叔孫婁（* 昭二十一 5） 6 蔡侯朱出奔：【魯】叔孫婁（昭二十一 1）
昭二十二 520	4 周景王崩：【晉】羊舌肸（昭十五 C）・【周】泠州鳩（昭二十一 A） 6 王子朝の亂：【魯】閔子馬（昭十八 4）・【周】實孟（昭二十二 4）・【周】 王子朝（昭二十六 7）
昭二十三 519	7 雞父の戦：【吳】公子光（* 昭二十三 7）
昭二十四 518	4 旱：【魯】梓慎・叔孫婁（昭二十四 3） 6 吳滅巢：【楚】沈尹戌（* 昭二十四 6）
昭二十五 517	5 魯昭公出奔：【魯】叔孫豹（襄三十一 C）・【-】君子（襄三十一 C）・ 【晉】女叔齊（昭五 3）・【晉】史趙・羊舌肸（昭十一 9）・【魯】叔孫 婁（昭十七 2）・【宋】樂祁（昭二十五 1）・【魯】師己（昭二十五 3）・ 【魯】子家羈（* 昭二十五 5） 6 叔孫婁卒：【宋】樂祁（昭二十五 1） 7 宋元公卒：【宋】樂祁（昭二十五 1）・【宋】宋元公（* 昭二十五 7）
昭二十六 516	6 楚平王卒：【鄭】游吉（昭二十六 6） 7 王子朝出奔：【周】萇弘（昭十八 A）・【魯】閔馬父（昭二十二 6）・【周】

	萇弘（昭二十三 9）
昭二十七 515	2 吳王闔廬立：【吳】屈狐庸（襄三十一 F）・【吳】伍員（昭二十 B）
昭二十八 514	A 祁氏・羊舌氏滅：【晉】羊舌肸（昭三 B）・【晉】羊舌肸母（* 昭二十八 A）
昭二十九 513	A 召伯盈・尹氏固・原伯魯之子卒：【魯】閔子馬（昭十八 4）・【周】婦人（* 昭二十九 A）
昭三十 512 ～昭三十一 511	
昭三十二 510	6 魯昭公薨：【魯】子家駒（昭二十七 A）
定元 509	1 魏舒卒：【衛】彪傒（昭三十二 5）・【衛】彪傒（* 定元 1）
定二 508 ～定三 507	
定四 506	14 柏舉の戦：【吳】夫槩王（* 定四 14） 15 雍澨の戦：【吳】夫槩王（* 定四 15） 15 吳入郢：【楚】公子貞（襄十四 F）・【魯】叔孫婁（昭十九 A）・【楚】沈尹戌（昭十九 F）・【楚】費無極・伍尚・伍奢・伍員（昭二十 B）・【楚】沈尹戌（昭二十三 B）・【楚】沈尹戌（昭二十四 6）・【蔡】蔡昭侯（定三 B）・【吳】伍員（* 定四 15）
定五 505	B 秦救楚：【楚】申包胥（定四 15） B 吳の撤兵：【楚】鬬辛（定五 D）
定六 504	1 鄭滅許：【-】君子（昭十八 2） 5 樂祁抑留：【宋】陳寅（定六 5）
定七 503	
定八 502	16 陽虎出奔：【衛】公叔發（定六 2）・【魯】仲孫何忌（定六 4）・【魯】公斂處父（* 定八 16）
定九 501	
定十 500	8 樂大心出奔：【魯】叔孫婁（昭二十五 1）・【晉】士彌牟（昭二十五 2）
定十一 499	

定十二 498	10 圍成不克：【魯】公斂處父（* 定十二 10）
定十三 497	6 范中行之亂：【晉】蔡史墨（昭二十九 C）
定十四 496	1 公叔戌出奔：【衛】史鰌（定十三 A） A 董安于卒：【晉】董安于（定十三 5） B 籍氏滅：【周】周景王（昭十五 C）
定十五 495	5 魯定公薨：【魯】端木賜（定十五 1）
哀元 494	
哀二 493	4 蒯聵入戚：【晉】陽虎（* 哀二 4） 5 鐵の戦：【晉】陽虎（* 哀二 5）
哀三 492	3 魯災：【魯】孔子（* 哀三 3） A 萇弘卒：【晉】女叔寬（定元 1）
哀四 491 ～哀五 490	
哀六 489	4 高張出奔：【晉】女叔寬（定元 1） 6 楚昭王卒：【楚】楚昭王（* 哀六 6）・【周】周大史（* 哀六 6）
哀七 488	4 魯入邾：【魯】端木賜（定十五 1）
哀八 487	1 宋滅曹：【鄭】渾罕（昭四 B）・【曹】或（哀七 6）
哀九 486 ～哀十 485	
哀十一 484	3 艾陵の戦：【齊】陳乞・公孫夏（* 哀十一 3）
哀十二 483	
哀十三 482	5 越伐吳：【晉】司馬寅（哀十三 A）
哀十四 481	3 陳恆執簡公：【齊】懿氏妻（莊二十二 3）・【周】周史（莊二十二 3）・ 【齊】晏嬰（昭三 B）・【晉】史趙（昭八 11）・【齊】晏嬰（昭二十六 E）・ 【吳】伍員（昭三十 A）・【晉】蔡史墨（昭三十一 7）・【齊】諸御鞅（* 哀十四 3）
哀十五 480	C 仲由卒：【魯】孔子（* 哀十五 C）
哀十六 479	C 白公勝の亂：【楚】沈諸梁（* 哀十六 C）

	D 大叔遺出奔：【衛】 嬖人 (* 哀十六 D)
哀十七 478	D 楚滅陳：【周】 周史 (莊二十二 3) ・【晉】 史趙 (昭八 11) ・【鄭】 裨竈 (昭九 3) ・【一】 君子 (昭十八 2) F 衛莊公卒：【衛】 衛莊公 (* 哀十七 F)
哀十八 477 ～哀二十一 474	
哀二十二 473	B 越滅吳：【楚】 公子申 (昭三十 4) ・【晉】 史墨 (昭三十二 3) ・【吳】 伍員 (哀元 A) ・【陳】 逢滑 (哀元 C) ・【楚】 公子申 (哀元 D) ・【魯】 子服何 (哀七 3) ・【吳】 伍員 (哀十一 A) ・【吳】 公子慶父 (哀二十 B)
哀二十三 472 ～哀二十五 470	
哀二十六 469	B 宋昭公立：【宋】 公子得 (* 哀二十六 B)
哀二十七 468	D 魯哀公出奔：【魯】 端木賜 (哀十六 3) ・【魯】 魯哀公 (* 哀二十七 D)

圖1は、表1・2に基づき、前720～前460年代の10年ごとの豫言の件数（「豫言1」）、豫言された事件の件数（「事件」）、事件に対する豫言の件数（「豫言2」）を示したものである。圖2は同じく前720～前460年代の10年ごとの『左傳』の言論の字数とそれ以外の部分の字数を示したものである。

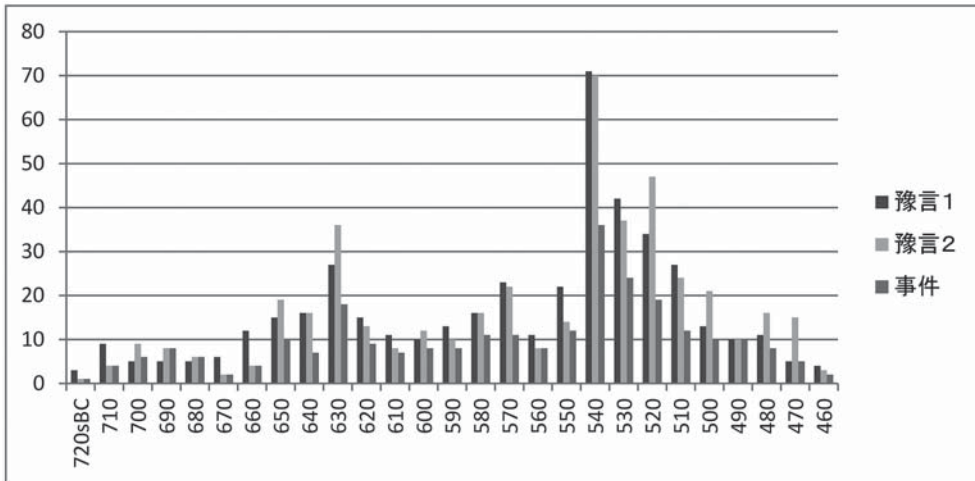


圖1 豫言および豫言された事件の件数

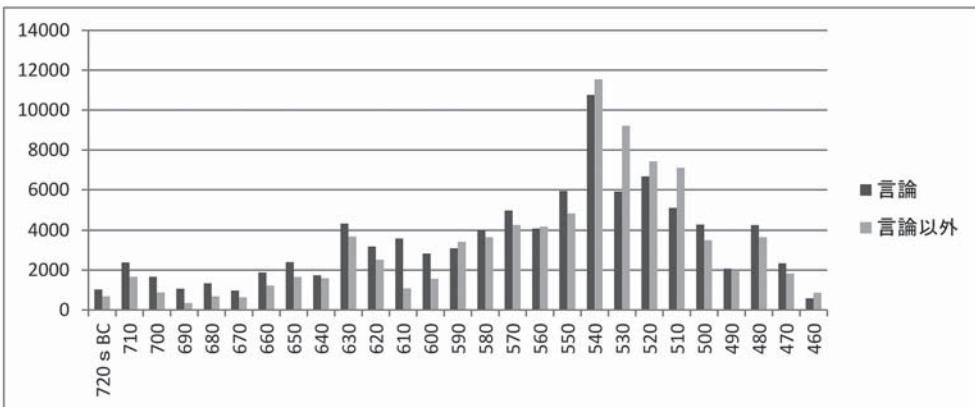


圖2 言論および言論以外の字数

圖1・圖2が基本的に類似した増減を示していることが了解されよう。すなわち、『左傳』は特定の時期に偏ることなく、一定の割合を維持しつつ、豫言形式の言論を載せているということになる。

第三章 豫言および豫言された事件の國別

1 豫言の國別

表1の發言者の國別によって、豫言の國別件数を集計すると、晉114・魯84・鄭48・楚47・周32・齊25・衛24・宋16・吳12・秦9・その他30となる。圖3は上位四箇國である晉・魯・楚・鄭の前720～前460年代10年ごとの豫言の累積件数、圖4は同じくこの四箇國の言論の累積字数を示したものである。圖3・圖4が基本的に類似した増加をたどることは、圖1・圖2と同様だが、圖4において最終的な累積字数が、

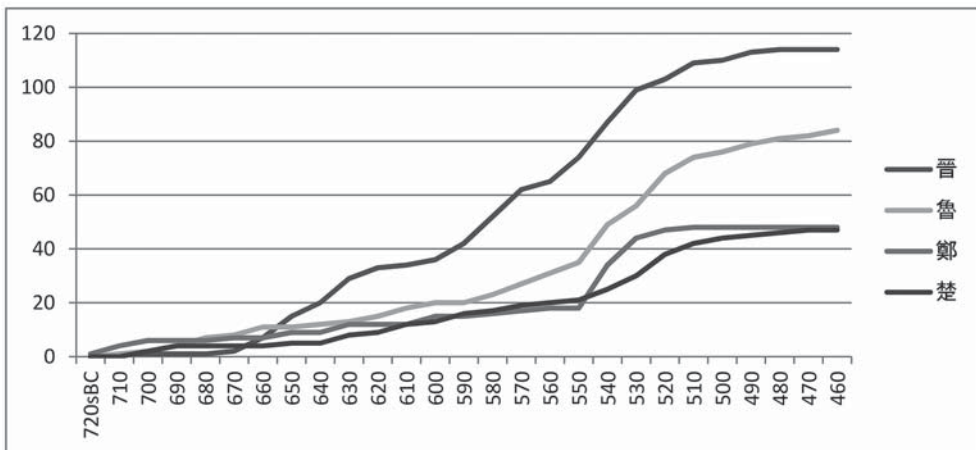


圖3 晉・魯・鄭・楚人の豫言件数

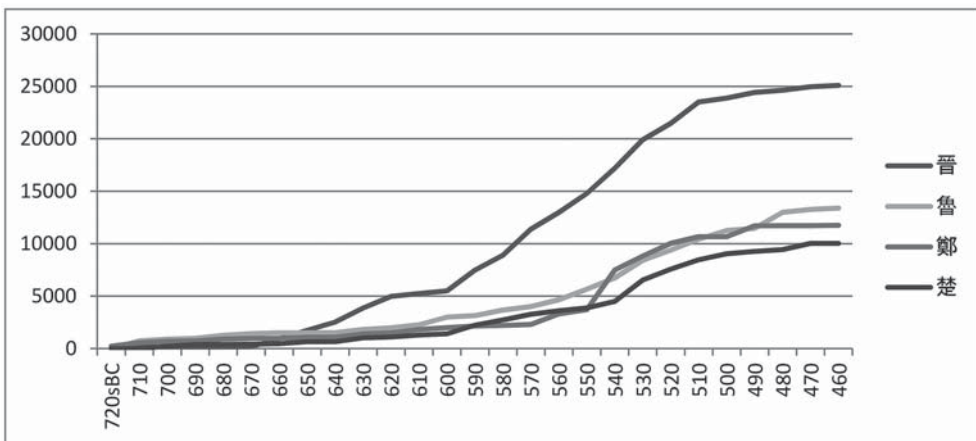


圖4 晉・魯・鄭・楚人の言論字数

魯 13,384・鄭 11,750・楚 10,030 であるのに對し、圖 3 では魯の件数が鄭・楚よりかなり多い。『左傳』が『春秋』の注釋の形式を採ることから、魯人の登場する頻度が高く、そのため豫言の件数は多くなる。その一方で、豫言を含む言論は必ずしも大きな字數を要さないので、言論の累積字數の差はより小さいということであろう。

また、圖 3 ではとくに魯については前 540～前 520 年代、鄭については前 540～前 530 年代が急勾配になっていることが注目される。表 3 は前 720～前 460 年代の 10 年ごとに 2 回以上豫言した人物を一覧したものである。人名は初見の 10 年枠に置き、人名のあとの數字は豫言の回数である。3 回以上豫言したものは太字とし、方術を用いた豫言が見えるものは★を附した。果たして魯については、前 560～前 530 年代に臧孫紇・叔孫豹・閔子馬（閔馬父）・梓慎・子服椒・叔孫婁が登場し、鄭については前 560～前 540 年代に公孫僑・公孫揮・游吉・裨竈が登場している。これら特定の人物

表 3 豫言者の國別

	周	魯	齊	晉	秦	楚	宋	衛	鄭	吳
720sBC									鄭莊公 2	
710									鄭厲公 2	
700						鄭曼 2				
690-680										
670				士蒍 4						
660	内史過★ 2		仲孫湫 2	卜偃★ 7						
650				荀息 2						
640		臧孫辰 2		慶鄭 2			公子目夷 5			
630				狐偃★ 3 晉文公 2		楚成王 2 荊賈 2			叔詹 2	
620	王孫滿★ 2 内史叔服★ 3	季孫行父 4		趙盾 2						
610				士會 2		申舟 2				
600		卜楚丘★ 2								
590	劉康公 2			荀首 2 郤克 2		申叔時 3				
580				韓厥★ 3 荀息 2 士渥濁★ 3 屈巫 2 士燮 3						
570		仲孫蔑 4						甯殖 2 定姜★ 2		
560		臧孫紇 3 叔孫豹★ 12							公孫僑 12	
550		閔子馬 ／閔馬父 3	晏嬰 6	師曠★ 3 羊舌肸★ 17 欒盈 2 羊舌肸母★ 2						
540		梓慎★ 7 子服椒★ 4	陳須無★ 3	趙武 5 女叔齊 4 韓起 2	公子鍼 2	申無宇 5		北宮佗 2	公孫揮 5 游吉 3 裨竈★ 6	
530	襄弘★ 4	叔孫婁★ 7		士匄★ 2 史趙★ 2						
520						楚靈王 2 沈尹戌 2				伍員 5
510		子家駒 2		蔡史墨 ／史墨★ 4		公子申 2		彪僕 2		
500		公斂處父 2								夫槩王 2
490		端木賜 3 孔子 2		陽虎 2						
480-460										

の存在が、魯・鄭のグラフの急勾配を支えている。また、晉人は前 670 ～前 490 年代に、魯人は前 640 ～前 490 年代にほぼ連続して登場しており、晉・魯の全體的な豫言件数の多さを支えている。さらに前 550 ～前 510 年代には、晉の師曠・羊舌肸・趙武・女叔齊・蔡史墨（史墨）、周の萇弘、楚の申無宇、吳の伍員なども登場しており、圖 1 に看取された前 540 ～前 510 年代の豫言件数の多さに呼應している。

圖 5 は前 720 ～前 460 年代 10 年ごとの方術に基づく豫言とそれ以外の豫言の度数を示したものである。とりわけ前 660 ～前 640 年代と前 530 ～前 510 年代における方術の度数が高いが、前者については晉の卜偃、後者については、晉の師曠・羊舌肸・士匄・蔡史墨、魯の梓慎・子服椒・叔孫婁、鄭の裨竈、周の萇弘などの登場に呼應するものである。

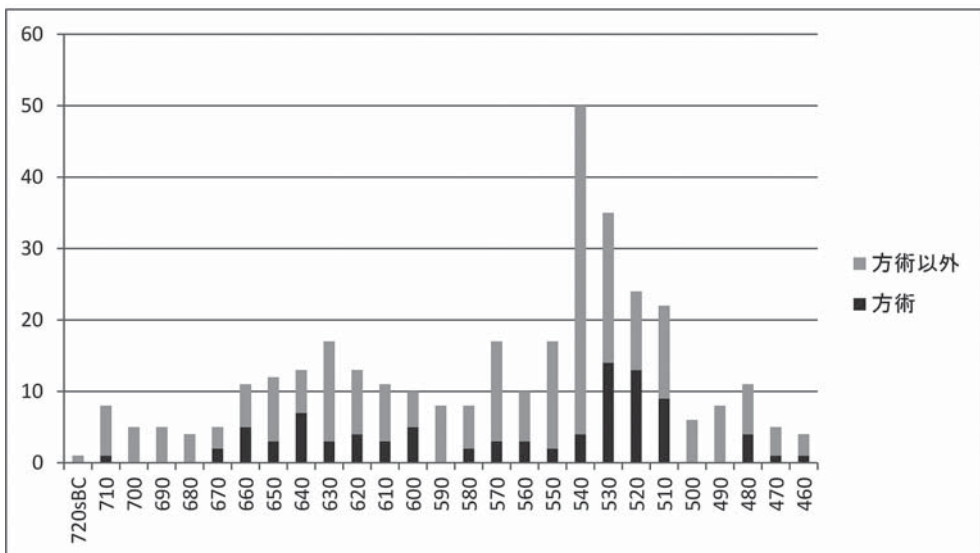


圖 5 方術・方術以外の豫言件数

2 事件の國別

發言者の國別によれば晉人が壓倒的に多いが、一方で、豫言された事件の國別はいささか異なった傾向を示す。

表 2 では複数回豫言された事件を太字で示したが、一見して明らかなように、前 650 ～前 620 年代のほとんどの事件と前 590 ～前 550 年代の全ての事件は晉に關わる。

ところが、前 540 年代以降については、むしろ周王朝および中原諸國の内亂、楚・吳・越の動向に關する豫言がほとんどを占めるようになり、晉に關する豫言は、數例が點在するに過ぎない。

これは一見すると圖 3 や表 3 に確認された晉人の優勢に矛盾するかの如くであるが、ここで今少し立ち入って豫言・事件の國別の組み合わせを検討してみる。圖 6 は、『左傳』の豫言を晉人が晉事を豫言した「晉人晉事」、晉以外の國に屬する人物が晉事を豫言した「外人晉事」、晉の主宰する會盟や朝聘で晉以外の國に屬する人物が晉以外の國の事件を豫言した「會盟朝聘」、晉人が晉以外の國の事件を豫言した「晉人外事」、晉との直接の關係をもたない「外人外事」の五つの範疇に分け、前 720- 前 460 年代の 10 年ごとにおける件数を示したものである。とりわけ前 540 ～前 510 年代は、圖 1・圖 2 で確認したように、豫言件數・字數ともに最も多く、『左傳』が最も重點的に記述した部分であるといえる。圖 6 によれば前 540 ～前 510 年代は、「外人外事」の件數も最多である。だがその一方で、たとえば、豫言數・字數が最多の前 540 年代については、「外

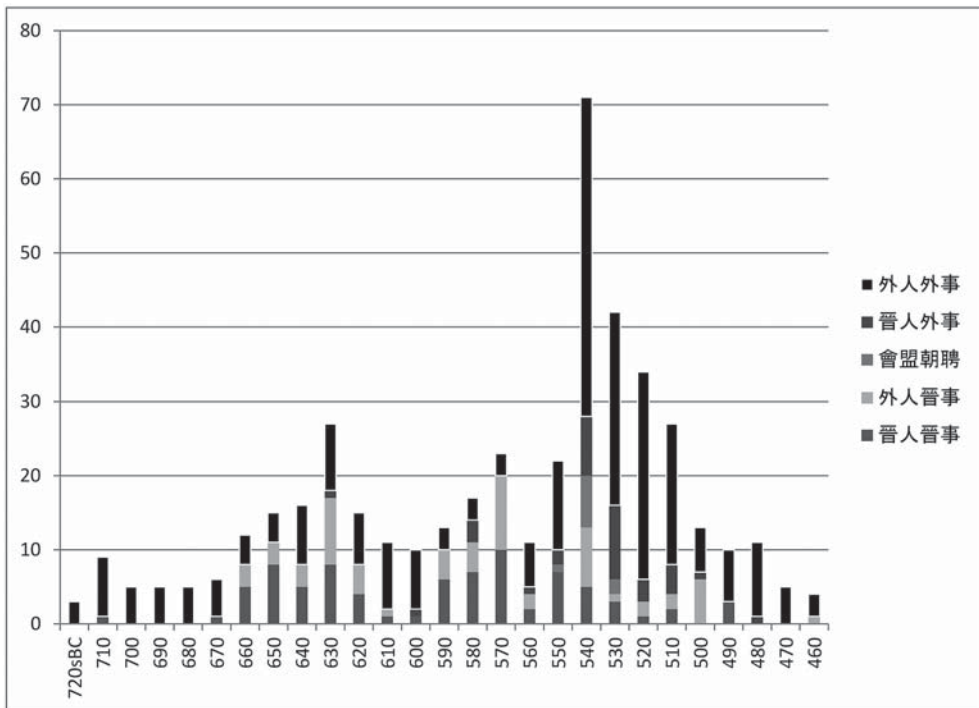


圖 6 晉人の豫言

人外事」以外の晉に關係する四つの範疇がなお 40%を占めている。とくに「晉人外事」に屬する豫言が増加したこともあり、表 2 では晉が見えにくくなっているに過ぎない。『左傳』は結局のところ、晉人の目から見た春秋史を記述したものに他ならないのである。

第四章 特定の事件を確認できない豫言

表 1 においては、豫言された事件が『左傳』に見えない、あるいは一回的な事件に限定できないものにつき、▲を附した。

1 諸侯國の動向

諸侯國について、一回的な事件ではなく、一定期間に渉る動向が豫言される事例がある。

まず晉について。

襄十三〔晉悼公十三年・前 560〕A「君子曰、…晉國以平、數世賴之、刑善也夫。」

襄二十六〔晉平公十一年・前 547〕A「師曠曰、公室懼卑。臣不心競而力爭、不務德而爭善、私欲已侈、能無卑乎。」

昭三〔晉平公十九年・前 539〕A「張趯曰、…晉將失諸侯、諸侯求煩不獲。」

昭三 B「叔向曰、晉之公族盡矣。肸聞之、公室將卑、其宗族枝葉先落、則公從之。」

昭十六〔晉昭公六年・前 526BC〕3「子服昭伯語季平子曰、晉之公室、其將遂卑矣。君幼弱、六卿彊而奢傲、將因是以習、習實爲常、能無卑乎。」

晉霸の解體を決定的にしたのが、定四〔晉定公六年・前 506〕の召陵の盟であり、ついで定十三〔晉定公十五年・前 497〕には范・中行の亂が勃發する。『左傳』の個々の言説はある意味場当たりので、必ずしも嚴密な一貫性を維持しない。襄二十六 A・昭三 A などは平公の段階で、晉の霸權喪失、晉の公室の衰退を豫言するが、一方で、襄十三 A「數世賴之」は悼公復霸が平公・昭公・頃公を経て定公初年まで曲がりなりにも持續することを肯定的に豫言しているのである。

楚については、僖二十八（前 632）5

晉侯聞之而後喜可知也、曰、莫余毒也已。蒍呂臣實爲令尹、奉己而已、不在民矣。
がある。蒍呂臣は『左傳』においては本條が終見であり、要するにその令尹としての
事績は何ら記述されていない。間接的だがこの豫言の「驗」となる。

衛については、襄二十九（前 544）8

適衛、說蘧瑗・史狗・史鰌・公子荊・公叔發・公子朝、曰、衛多君子、未有患也。
がある。衛では獻公亡命から復位に至る内亂が前年の石惡出奔によって終息したと
ころであり、昭公二十年（前 522）の齊豹の亂まで二十年餘りの平和が續く。本條はこ
の一時的な平和を「未有患也」と豫言したものとなる。ここに竝んでいる衛の大夫の
うち、蘧瑗・公叔發・史鰌は、『論語』・『禮記』檀弓など初期儒家著作に散見する*23。『左
傳』にはこれらの引用が確認され*24、本條の記述が同様の初期儒家著作を参照したこ
が推定される。

鄭については、襄三十一（鄭簡公二十四年・前 542）G

十二月、北宮文子相衛襄公以如楚、宋之盟故也。過鄭、印段迂勞于棐林、如聘禮
而以勞辭。文子入聘。子羽爲行人、馮簡子與子大叔逆客。事畢而出、言於衛侯曰、
鄭有禮、其數世之福也、其無大國之討乎。詩云、誰能執熱、逝不以濯。禮之於政、
如熱之有濯也。濯以救熱、何患之有。

*23 『論語』憲問「子問公叔文子於公明賈曰、信乎、夫子不言不笑不取乎。公明賈對曰、以告者
過也。夫子時然後言、人不厭其言。樂然後笑、人不厭其笑。義然後取、人不厭其取。子曰、
其然。豈其然乎。」「公叔文子之臣大夫僕與文子同升諸公。子聞之曰、可以爲文矣。」「蘧伯
玉使人於孔子。孔子與之坐而問焉、曰、夫子何爲。對曰、夫子欲寡其過而未能也。使者出。
子曰、使乎。使乎。」「衛靈公「子曰、直哉史魚。邦有道如矢。邦無道如矢。君子哉蘧伯玉。
邦有道則仕。邦無道則可卷而懷之。」「禮記」檀弓上「公叔文子升於瑕丘、蘧伯玉從。文子曰、
樂者斯丘也。死則我欲葬焉。蘧伯玉曰、吾子樂之、則瑗請前。」「檀弓下「公叔文子卒、其
子戌請諡於君、曰、日月有時、將葬矣。請所以易其名者。君曰、昔者衛國凶饑、夫子爲粥
與國之餓者、是不亦惠乎。昔者衛國有難、夫子以其死衛寡人、不亦貞乎。夫子聽衛國之政、
脩其班制、以與四鄰交、衛國之社稷不辱、不亦文乎。故謂夫子貞惠文子。」

*24 『左傳』における『論語』ないしその原資料の引用としては、たとえば『左傳』哀十四 10「甲
午、齊陳恆弑其君壬于舒州。孔丘三日齊、而請伐齊三。公曰、魯爲齊弱久矣、子之伐之、
將若之何。對曰、陳恆弑其君、民之不與者半。以魯之眾、加齊之半、可克也。公曰、子告
季孫。孔子辭、退而告人曰、吾以從大夫之後也、故不敢不言」と『論語』憲問「陳成子弑
簡公。孔子沐浴而朝、告於哀公曰、陳恆弑其君、請討之。公曰、告夫三子。孔子曰、以吾
從大夫之後、不敢不告也。君曰告夫三子者、之三子告、不可。孔子曰、以吾從大夫之後、
不敢不告也」との對應を挙げうる。『左傳』の檀弓引用については、吉本 1992 を見よ。

がある。鄭はすでに襄十一（鄭簡公四年・前 562）の蕭魚の會で晉の同盟に復歸していた。晉との平和は、簡公から定公・獻公を経て、定六（鄭獻公十年・前 504）の滅許に至るまで持續する。「鄭有禮、其數世之福也、其無大國之討乎」とは以後四十年近く續いた晉との平和を豫言したものとなる。北宮文子の發言に續く、

子產之從政也、擇能而使之。馮簡子能斷大事。子大叔美秀而文。公孫揮能知四國之爲、而辨於其大夫之族姓、班位貴賤能否、而又善爲辭令。裨諶能謀、謀於野則獲、謀於邑則否。鄭國將有諸侯之事、子產乃問四國之爲於子羽、且使多爲辭令。與裨諶乘以適野、使謀可否。而告馮簡子使斷之。事成、乃授子大叔使行之、以應對賓客、是以鮮有敗事。北宮文子所謂有禮也。

は、前條と同様、『論語』憲問「子曰、爲命、裨諶草創之、世叔討論之、行人子羽脩飾之、東里子產潤色之」を参照したものであろう。

同じく豫言の對象が一回的な事件でないものとして、昭七 6 の孔子の出現がある。事件の當事者として孔子が初見するのは、昭十七 3 である。

2 世族の動向

世族について、魯の臧孫氏および三桓、晉の魏氏・韓氏・趙氏、齊の管氏、楚の蒯氏、宋の樂氏、鄭の良氏以外の七穆の存續に關する豫言がある。これらの世族については、次節に一部言及するように、戰國期における存在が確認され、あるいは少なくとも『左傳』においてはその滅亡が確認できない。そうした消極的な意味においてこれらの豫言は「驗」をもつということになろう*25。

これら以外に個々の世族成員に關わる豫言で、『左傳』においてその「驗」が明示されない事例がある。

まず施孝叔卒（成十一 A）「婦人怒曰、己不能庇其伉儷而亡之、又不能字人之孤而殺之、將何以終。遂誓施氏」について、これに呼應すべき施孝叔の横死といった事件は『左傳』には見えない。もっとも、それがただちに豫言の「不驗」を意味するわけではない。施孝叔の子孫が『左傳』に見えないという事實は、施氏の没落を示唆する。『左傳』が

*25 僖十二 C「君子曰、管氏之世祀也宜哉」につき、杜注「管仲之後、於齊沒不復見、傳亦舉其無驗」は「無驗」とするが、これは当たらない。後述の如く『左傳』には「驗」が明示されない豫言が散見する。

豫言の「驗」に当たる事件を記載していないだけのことである。同様の事例が昭元2

子羽謂子皮曰、叔孫〔叔孫豹〕絞而婉、宋左師〔向戌〕簡而禮、樂王鮒字而敬、子〔罕虎〕與子家〔公孫歸生〕持之、皆保世之主也。齊・衛・陳大夫、其不免乎。國子〔國弱〕代人憂、子招〔公子招〕樂憂、齊子〔齊惡〕雖憂弗害。夫弗及而憂、與可憂而樂、與憂而弗害、皆取憂之道也、憂必及之。大誓曰、民之所欲、天必從之。三大夫兆憂、憂能無至乎。言以知物、其是之謂矣。

である。「皆保世之主也」なる豫言はそもそも一回的な事件を「驗」とするものではないが、叔孫豹・向戌・罕虎については、その子である叔孫婁・向寧・罕嬰齊が『左傳』に見え、かれらが「保世之主」であることの「驗」とみなしうる。一方で、樂王鮒・公孫歸生の子孫は『左傳』に見えないが、その滅亡も見えない。また「憂必及之」については、『左傳』には公子招の出奔は見えるが、國弱・齊惡の末路については記述がない。もっとも、國氏の卿として國弱の次に出現する國夏につき、杜預は『春秋經』定七6「齊國夏帥師伐我西鄙」に「夏、國佐孫」と注しており、國弱の子が卿位を継がなかったことを示唆する。また、齊惡については、子の齊豹が昭二十に反亂を起こし、齊氏は滅亡している。これらは「憂必及之」の「驗」となろう。

3 戦国時代の事件^{*26}

『左傳』に見えない事件として、戦国時代、すなわち『左傳』の年代記的記述の下限である哀二十七（前468）以降に年代附けられる事件がある。

衛出公卒（哀十二4・哀二十六C）は前466年^{*27}、知伯滅（哀二十七C）は前453年^{*28}の事件だが、これらは『左傳』にすでに事件の發端が記されている。

^{*26} 『左傳』の戦国時代の事件に対する豫言についての近年の論著としては、さしあたり黄覺弘2010、「第二章《左傳》成書時代上下限」を挙げておく。その他『左傳』の戦国時代の事件に対する豫言については少なからぬ論著があるが、それらを個々に論評することは餘り生産的ではない。戦国時代の事件に対する豫言を評価するには、年代観およびそれを踏まえた政治史的推移に対する認識が必須である。戦国紀年の復元については、つとに1950年代に楊寛1955・錢穆1956・陳夢家1956が先鞭を附けており、加えて楊寛2001は戦国史料の包括的編年を試みているが、これらを十分に咀嚼した上でなされた論著はむしろ例外的であり、『史記』の紀年を無批判に用いるものさえ散見する。

^{*27} 戦国王侯の在位年代については、吉本1998を見よ。

^{*28} 戦国前中期の政治史的推移については、吉本2005を見よ。

これらに對してむしろ『左傳』成書の時點を起點として、その時期の知見が春秋時代の記述に反映されている事例がある。「左傳成書考」ですでに考證しているので、こちらをも参照されたいが、ここでは若干の知見を加えた上で一覽しておく。

(1) 魯の季氏の「亡」*²⁹ (前 410) 閔二 B「季氏亡則魯不昌」:季氏は、『禮記』檀弓下に「悼公之喪、季昭子問於孟敬子曰、爲君何食」とあるように、魯悼公(前 467～前 431)の卒した前 431 年にはなお孟氏とともに見え、續く元公(前 430～前 410)の時代にも、『竹書紀年』晉紀 64*³⁰に「(晉)幽公十三年(前 421)、魯季孫會晉幽公於楚丘、取葭密、遂城之」とあるように、晉幽公(前 433～前 416)と結んで衛に出兵している。ところが、ほどなく齊が晉への攻勢に轉じ、前 413 年には、晉が黄河右岸に築いた黄城を破壊し、その南方の陽狐を包圍した。齊は晉の同盟國たる魯にも進攻し、前 412 年には莒・安陽を伐ち、前 411 年には都(邑の名)を攻略した。元公の死は翌前 410 年のことだが、これは決して偶然ではあるまい『韓非子』説林上

魯季孫新弑其君、吳起仕焉。或謂起曰、夫死者、始死而血、已血而衄、已衄而灰、已灰而土、及其土也、無可爲者矣。今季孫乃始血、其母乃未可知也。吳起因去之晉。の季氏に弑殺された魯君とは元公であろう。齊の連年の進攻が、對晉接近を推進した季氏への批判をもたらしたことは容易に推測される。元公と對立した季氏が弑殺に及んだものであろう。具體的な經緯は不明だが、元公弑殺ののち、季氏は魯を退去して采邑であった費に遷り獨立した。「季氏亡」である。齊の侵攻はなおも續き、前 408 年、齊は郕を攻略した。郕(成)は孟氏の采邑であり、この結果、孟氏も滅亡し、穆公(前 409～前 377)の國君專權が成立することとなったものであろう。穆公の時代には、『孟子』告子下に「魯繆公之時、公儀子爲政、子柳・子思爲臣、魯之削也滋甚」とあるように、公儀休が執政となっており、それ以前に三桓が沒落していたことを窺わせる*³¹。

2011 年に公開された清華簡『繫年』22 章には、前 404 年の晉齊戰爭の際、晉と結んだ越王翳(前 411～前 376)が、齊康公(前 404～前 391)・魯穆公と講和して、魯の稷門の外で盟し、魯が越王を饗した際に、魯穆公・齊康公が、越王の御・參乗をつとめる臣從儀禮を行ったこと、ついで晉が齊を破ったのち、晉烈侯(前 415～前 389)が

*²⁹ 童書業 1980、「季氏之“亡”」。

*³⁰ 『竹書紀年』については方詩銘・王修齡 1981 を用いる。

*³¹ 錢穆 1956、48「魯繆公禮賢攷」。

齊康公・魯穆公・宋悼公（前 403 ～前 381）・衛愼公（前 424 ～前 383）・鄭繻公（前 423 ～前 397）を率いて周威烈王（前 425 ～前 402）に朝したことが見える。

三桓没落を契機に魯穆公が齊への接近に速やかに轉じたことが確認されるが、穆公の時代には上掲の『孟子』告子下に見えるように、魯は「魯之削也滋甚」という頽勢に陥る。『繫年』に見える晉・越に對する敗戦もその一環であろう。「魯不昌」に他ならない。

(2) 三晉の諸侯公認（前 403） 襄二十九 8「適晉說趙文子・韓宣子・魏獻子、曰、晉國其萃於三族乎」：魏・韓・趙氏は周知の如く前 453 年に知氏を滅ぼし、ついで前 403 年には周王朝より諸侯に公認された。とくに魏氏については、閔元 B が魏氏が諸侯となることを明示的に豫言するほか、昭二十八 C「其長有後於晉國乎」がある。また、襄二十九 8「爲之歌魏、曰、美哉、颯颯乎。大而婉、險而易行、以德輔此、則明主也」の「明主」を『史記』吳世家は「盟主」に作る。「明主」は『左傳』では他に用例を見ず、その他の先秦文獻では『孫子』『管子』『商君書』『荀子』『韓非子』『戰國策』に見え、戰國後期のとりわけ法家が選好した語彙である。對するに「盟主」は『左傳』に 21 例見える。襄二十九 8 の「明主」は「盟主」の誤であろう。ここの「魏」はもとより『詩』魏風の魏だが、同じく「魏」であることから、『詩』の論評に託して戰國魏國の「盟主」たるを豫言したものである。魏文侯（前 445 ～前 396）・武侯（前 395 ～前 370）は周王朝・晉侯を奉じて實質的に盟主をつとめている。また、襄二十六 H「韓氏其昌阜於晉乎」は韓氏に關する豫言である。

(3) 田齊の諸侯公認（前 386） 昭三 B「晏子曰、此季世也、吾弗知、齊其爲陳氏矣」・昭二十六 E「齊侯與晏子坐于路寢。公歎曰、美哉室。其誰有此乎。晏子曰、敢問何謂也。公曰、吾以爲在德。對曰、如君之言、其陳氏乎」は、田和の諸侯公認よりむしろ前 481 年の陳恆の齊簡公弑殺を豫言したものとするべきであろう。戰國期の文獻に田和がほとんど見えず^{*32}、對するに陳恆（田常）の篡奪が頻見すること^{*33}は、その傍證となる。

*32 傳世文獻では、『呂氏春秋』順民「齊莊子請攻越、問於和子。和子曰、先君有遺令曰、無攻越、越猛虎也。莊子曰、雖猛虎也、而今已死矣。和子以告鴟子。鴟子曰、已死矣以爲生」・『戰國策』西周策「函冶氏爲齊太公買良劍」・魏策四「齊和子亂而越人亡綰」にしか見えない。その他、『竹書紀年』晉紀 79「悼子卒、乃次立田和」・清華簡『繫年』22 章「晉三子之大夫入齊、盟陳和與陳湜於濫門之外」に見える。

*33 陳恆（田恆・田常・陳成子・田成子・陳成常・田成恆・田成・田成氏）は『論語』憲問・『莊

いささか留意すべきは、

襄二十九 8「爲之歌齊、曰、美哉。決決乎。大風也哉。表東海者、其大公乎。國未可量也。」

哀十五 B「天或者以陳氏爲斧斤、既斲喪公室、而他人有之、不可知也。其使終饗之、亦不可知也。」

である。前者は齊につき「國未可量也」とし、後者は陳氏の齊支配が確定的でないことを示唆する。現時点では具體的な経緯は不明とせざるを得ないが、田齊の諸侯公認まで何らかの紆餘曲折があったのかもしれない。

(4) 鄭の滅亡^{*34} (前 375) 昭四 B「姫在列者、蔡及曹・滕其先亡乎、偪而無禮。鄭先衛亡、偪而無法」：蔡・曹・滕・鄭の滅亡は前 531 年・前 487 年・前 415 年・前 375 年であり、豫言の順番に一致する。これは偶中ではありえず、『左傳』の豫言がいわゆる事後豫言であること、また『左傳』が基本的に前 375 年以降の成書であることの明證となる。

鄭の滅亡に關する豫言は、これ以外にも、襄二十九 8「爲之歌鄭、曰、美哉。其細已甚、民弗堪也。是其先亡乎」・昭六 A「終子之世、鄭其敗乎」があるが、一體、『左傳』には鄭の世族に關する豫言が頻見する。すなわち、襄二十七 B では趙武が鄭の七穆のうち良霄（良氏）以外の六卿（罕氏・駟氏・豐氏・游氏・印氏・國氏）を「數世之主也」と評し、昭十六 C では韓起が同じく六卿をやはり「數世之主」と評している。少なくとも、『左傳』においては、六卿の滅亡は確認できず、「數世之主」の「驗」となっている。

その一方で昭四 B「國氏其先亡乎」・昭六 A「不能及子孫」は國氏が最初に滅びることを豫言し、襄二十六 7「鄭七穆、罕氏其後亡者也」・襄二十七 B「子展其後亡者也、…印氏其次也」・襄二十九 D「鄭之罕、宋之樂、其後亡者也」などは罕氏が最後まで残り、印氏がそれに次ぐことを豫言している。國氏の滅亡の具體的な経緯は、現時点では不明である。ついで、『史記』六國年表／韓烈侯二年（前 398）「鄭殺其相駟子陽」には、駟子陽の誅殺が見えるが、清華簡『繫年』23 章には、「鄭大宰欣亦起禍於鄭、鄭子陽

子』外篇／肱篋・雜篇／盜跖・『墨子』非儒下・『荀子』堯問・『呂氏春秋』長見・慎勢・似順・『韓非子』難言・二柄・十過・姦劫弑臣・喻老・說林上・安危・守道・內儲說下・外儲說右上・外儲說右下・難二・難三・說疑・五蠹・人主・『戰國策』韓策一に見える。

^{*34} 童書業 1980、「司城子罕取宋、太宰欣取鄭」。

用滅、亡後於鄭」とあり、大宰欣の亂を契機に駟氏が滅亡したことを知る。「大宰欣」は、『韓非子』説疑

田成子取齊、司城子罕取宋、太宰欣取鄭、單氏取周、易牙之取衛、韓・魏・趙三子分晉、此八人者、臣之弑其君者也。

の「太宰欣」である。「田成子取齊」が陳恆の齊簡公弑殺を指すので、「取」は篡奪とは限らないが、「太宰欣取鄭」が、太宰欣の鄭篡奪を意味するものとすれば、太宰欣は『史記』六國年表／韓烈侯五年（前 395）「鄭康公元年」の鄭康公その人となろう。鄭は康公二十一年（前 375）に韓に滅ぼされる。罕氏「後亡」とは太宰欣＝鄭康公が罕氏に屬することを指すものとなろう。

ちなみに昭四「鄭先衛亡」がとくに衛に言及するのは、『史記』趙世家／敬侯四年（前 383）に「築剛平、以侵衛」とあるように、衛が趙の侵略を被るようになり、『戰國策』齊策五に「昔者趙氏襲衛、車舍人不休傳、衛國城割平、衛八門土而二門墮矣、此亡國之形也」とあるように、「亡國之形」に陥っていたことを反映するものであろう。

(5) 趙の内亂（前 374） 定九「趙氏其世有亂乎」：前 425 年に趙襄子が卒すると、桓子が自立し、獻侯（前 423 ～前 409）と對立した。前 409 年獻侯卒の際には内亂は見えないが、前 387 年、烈侯（前 408 ～前 387）が卒し敬侯（前 386 ～374）が立つと、公子朝が反亂し、前 374 年、敬侯が卒し成侯（前 374 ～前 350）が立つと、公子勝が反亂した。「趙氏其世有亂乎」とは、前 387 年・前 374 年とわずか 13 年を隔てて二度の内亂が勃發したことを反映した發言であろう。

(6) 晉の「亡」（前 369） 晉は前 585 年、新田に遷都したが、成六 B に、韓獻子の發言として「十世之利也」と見える。時の晉侯は景公だが、圖 7 に示されるように、景公の十代後が烈侯で、その次の孝公（『竹書紀年』は「桓公」に作る。前 388 ～前 351）は、前 369 年、韓・趙によって屯留に遷された。『左傳』の「十世」は厲公～烈公を数えたものである。昭二十九 C「晉其亡乎」もこの屯留への遷徙を踏まえたものである。



圖 7 晉系譜

(7) 周王朝の衰退（前 367） 宣三 3「成王定鼎于郊廓、卜世三十、卜年七百、天所命也」：圖 8 に示されるように、「卜世三十」は成王から数えて三十代目の烈王（前 375～前 369）に当たる。『史記』趙世家に「（成侯）七年（前 368）、…與韓攻周。八年（前 367）、與韓分周以爲兩」とあるように、烈王崩後、『戰國策』に見える東周・西周が分立した。同時代人にとっては周の天命の終焉と感じられたものであろう。

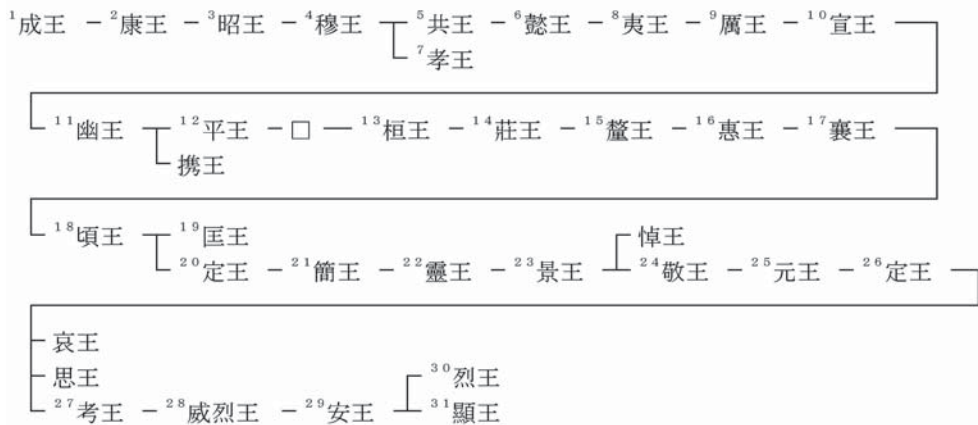


圖 8 周系譜

(8) 秦の逼塞（前 364 以前） 文六 B「君子曰、秦穆之不爲盟主也宜哉。…君子是以知秦之不復東征也」：『左傳』において唯一明確に「不驗」の豫言である。すなわち、前 364 年、秦獻公は、魏都安邑にほど近い石門まで出撃して「斬首六萬」の大勝を博し、加えて周王朝の祝賀を受けた。覇者すなわち「盟主」に對する扱いに他ならない*35。この事實は、『左傳』がこの事件以前に基本的に成立したことを明示するものとなる。

襄二十九 8「爲之歌秦、曰、此之謂夏聲。夫能夏則大、大之至乎、其周之舊也」は秦が「周之舊」を制壓することを豫言する。「周之舊」とは克殷以前の周の領域たる渭水流域を指すものであろう*36。石門の戦に先立ち、『史記』六國年表／秦獻公十九年（前 366）「敗韓・魏洛陰」は洛水以南における秦の優勢を伝える。襄二十九 8 はこうした

*35 『孟子』盡心下「孟子曰、春秋無義戰。彼善於此、則有之矣。征者上伐下也、敵國不相征也」は「征」を軍事行動一般ではなく、「上伐下」とする。『左傳』においても成十三 3「文公躬擐甲冑、跋履山川、踰越險阻、征東之諸侯」が覇者たる晉文公の軍事行動をとくに「征」と稱している。秦の「東征」とは「盟主」すなわち覇者としての中原出兵を指す。

*36 杜注「及襄公佐周、平王東遷、而受其地、故曰周之舊」。なお、『焦氏易林』離「延陵適魯、觀樂太史。車轡白顛、知秦興起。卒兼其國、一統爲主」はこの豫言を始皇帝に附會する。

状況を意識したものであろう。

以上 (1)～(8) が、前 410～前 364 年の半世紀足らずの間に収まり、とりわけ (4)～(8) の 5 件が前 375 から前 364 年以前の數年に集中することは決して偶然ではない。これらの事件が半世紀足らずの間に収まる一方で、前 453 年の知伯滅以降、前 410 年以前の事件が認められないのは、これらの事件がおおむね一人の人物が自ら目睹した事件であり、とくに (4)～(8) が『左傳』編纂の正にその時期の事件であったからであらう。このことは吳起の『左傳』編纂という説を支持するが、この點については、本稿ではこれ以上は立ち入らない。

ついで、次の二條は、前 364 年以降の事件を反映する。

(9) 宋の樂氏の滅亡^{*37} (前 340) 襄二十九 D 「(a) 叔向聞之、曰、鄭之罕、宋之樂、其後亡者也、二者皆得國乎。民之歸也。(b) 施而不德、樂氏加焉、其以宋升降乎」:(a) は鄭の罕氏・宋の樂氏を並列するが、(b) は樂氏にもっぱら言及する。最後の一句は、樂氏が宋とともに滅亡することを豫言したものとも解しうる。樂氏は、宋戴公の子孫、戴族の代表として「戴氏」と稱されていた^{*38}。その戴氏につき、『韓非子』内儲說下に、「戴驪爲宋太宰、皇喜重於君、二人爭事而相害也、皇喜遂殺宋君而奪其政」とある。皇喜は、『韓非子』に頻見する司城子罕である^{*39}。春秋期の華喜が同じく子罕を字とした^{*40} ように、喜－罕は名字對等の關係にある。『竹書紀年』魏紀 67 「宋剔城肝廢其君璧而自立也」、『史記』宋世家「辟公三年卒、子剔成立」の「剔城肝」「剔成」が司城子

*37 童書業 1980、「司城子罕取宋、太宰欣取鄭」。

*38 「戴氏」は当初、『左傳』文八 7 「戴氏之族」杜注「華・樂・皇、皆戴族」の如く、戴族(宋戴公の子孫)を汎稱したが、定九 A 「右師將不利戴氏」杜注「樂氏、戴公族」・哀二十六 B 「戴氏・皇氏將不利公室」杜注「戴氏即樂氏」では樂氏を排他的に指すようになっている。ことに哀二十六 B では同じく戴族である皇氏が戴氏と區別されている。華氏の亂(前 522)ののち、戴族の最有力家系となった樂氏が戴族の代表として戴氏の稱謂を獨占したものであろう。

*39 『韓非子』二柄「子罕謂宋君曰、…於是宋君失刑而子罕用之、故宋君見劫」・外儲說右下「司城子罕謂宋君曰、…處期年、子罕殺宋君而奪政」・難三「以不忠之臣事不明之君。君不知、則有燕操・子罕・田常之賊」・說疑「若夫田恆・宋子罕・…、此九人者之爲其臣也」・五蠹「雖有田常・子罕之臣、不敢欺也」・人主「宋君失其爪牙於子罕」。

*40 『左傳』襄二十七 C に「宋左師請賞、曰、請免死之邑。公與之邑六十、以示子罕。…君子曰、彼己之子、邦之司直、樂喜之謂乎。何以恤我、我其收之、向戌之謂乎」とある。左師は向戌、子罕は樂喜である。

罕であり、「璧」「辟公」とは、宋桓公璧兵（前 370 ～前 340）のことである。剔成の篡奪は、前 340 年のことである。「其以宋升降乎」を豫言と解した場合、(b) は前 340 年以降に附加されたものとなろう^{*41}。

(10) 衛の滅亡^{*42}（前 330）僖三十一「冬、狄圍衛、衛遷于帝丘、卜曰、三百年」：『史記』衛世家に「嗣君五年、更貶號曰君、獨有濮陽」とある。衛嗣君（前 334 ～前 293）五年は前 330 年となるが、『竹書紀年』魏紀 31 には、魏惠王後元五年（前 330）に魏將公子景賈が韓軍と衛都濮陽で交戦し、ついで圃田澤の北で敗績したとある。衛は、魏の對趙韓戦争に際し、魏の側に参戦したが、韓に濮陽を包圍され、魏の援軍も敗戦した。ここで衛は趙・韓に降伏して濮陽以外の領土と諸侯としての稱號を放棄したものである。

(9) (10) は、前 364 年以降の状況を反映するが、これらを根據に『左傳』の基本的な成書を前 330 年に下すことはできない。周王朝は前 360 年、秦孝公に文武の胙を贈り、ついで前 343 年には孝公を覇者に認證している。こうした状況を前提とした場合、(8) の秦が二度と東征しないといった記述はありえない。そのような「不驗」の豫言をわざわざ創作しても讀者の失笑をかうのみであろう。(9) (10) は、前 364 年以前に『左傳』の基本的な部分が成立したのちの正に二次的な附加に係る部分と考えるべきである。

結語

豫言の對象となる事件には、『左傳』のより強い關心が作用していたことが容易に想像される。ここでは表 2 において太字で示した『左傳』において複数回豫言された事件をたどることで、『左傳』が春秋時代のいかなる歴史的推移を重視していたかを確認し、本稿の結語とする。

まず注目すべきは、前 650 ～前 620 年代の事件のほとんど、および前 590 ～前 550

^{*41} 『韓非子』忠孝「戴氏奪子氏於宋」は司城子罕（皇喜）を「戴氏」と稱している。樂氏滅亡ののち、皇氏が戴族の代表として戴氏を稱するようになったものであろう。『孟子』滕文公下に見える戴不勝・戴盈之は、宋君偃（前 338 ～前 286。前 328 稱王）の同族で皇氏に属するものであろう。

^{*42} 童書業 1980、「『左傳』記事之下限」。

年代の事件の全てが、晉關係の事件であるという事實である。前者は太子申生卒（前 656）から殺の戦（前 627）まで、すなわち文襄の霸の形成に至るまでであり、後者は邲の戦（前 597）から晉厲公卒（前 573）まで、すなわち悼公復霸の前提となる晉霸の再編過程、および欒氏の滅亡（前 552）にともなう晉の六卿の確定までである。

前 550 年代以前における晉以外の事件としては、まず、繻葛の戦（前 707）、齊伐鄭（前 645）、齊桓公卒（前 643）、泓の戦（前 638）、楚成王卒（前 626）がある。これらは鄭・莊公・齊桓公・宋襄公・楚成王に關わる。鄭・莊公は後代、「小霸」に擬せられるが^{*43}、『左傳』にそうした表現が見えないのは、繻葛の戦で周王朝の卿士としての地位を喪失したためでもあろう。齊桓公は『左傳』が認定する最初の霸者だが^{*44}、その霸權は桓公一代に終わった。宋襄公・楚成王は霸を志向しつつ果たせなかった。かれらの失敗を前提として文襄の霸が形成されたのであり、その限りにおいてこれらの事件は、晉關係の事件と同様に、文襄の霸の形成を説明するものとなっている。ついで、宋昭公卒（前 611）^{*45}・齊懿公卒（前 609）^{*46}は、國君に罪有りとする事例であり、晉霸の中衰を象徵するものといつてよからう。

要するに前 550 年代以前の事件は、晉悼公復霸に歸結する晉霸の完成過程に關わる。ついで宋の盟（前 546）は晉霸の完成を劃するものだが、この宋の盟以降、晉に關わる事件は、宋の盟の際の正卿であつた趙武の死（前 541）、趙武の後任である韓起の無策に起因する晉霸の弛緩に對應した平丘の盟（前 529）、さらに「晉公室卑」を象徵する祁氏・羊舌氏滅亡（前 514）、晉霸の掉尾というべき成周築城に携わつた魏舒の死（前 509）のわずかに 4 件が點在するに過ぎない。前 540 年代以降は、

周：周景王崩（前 520）・王子朝の亂（前 520）・王子朝出奔（前 516）・召伯盈尹氏固原伯魯之子卒（前 513）

魯：叔孫豹卒（前 538）・魯昭公如楚（前 535）・魯昭公出奔（前 517）・陽虎出奔（前 502）・魯哀公出奔（前 468）

*43 童書業 1980「鄭・莊小霸」。

*44 『左傳』莊十五 1「十五年春、復會焉、齊始霸也」。

*45 『春秋經』文十六 6「冬十有一月、宋人弑其君杵臼」『左傳』「書曰、宋人弑其君杵臼。君無道也」。

*46 『春秋經』文十八 3「夏五月戊戌、齊人弑其君商人」杜注「不稱盜、罪商人」。

齊：齊莊公卒（前 548）・慶封出奔（前 545）・欒高の亂（前 532）・陳氏始大（前 532）・陳恆執簡公（前 481）

宋：華氏の亂（前 522）・宋元公卒（前 517）・樂大心出奔（前 500）

衛：衛獻公復位（前 547）・甯喜卒（前 546）・公子鱄出奔（前 546）

鄭：良霄出奔（前 543）・公孫僑執政（前 543）

その他：宋衛陳鄭災（前 524）

楚：楚康王卒（前 545）・楚靈王立（前 541）・楚滅陳（前 534）・蔡靈侯卒（前 531）・楚滅蔡（前 531）・楚靈王卒（前 529）・公子比卒（前 529）・楚平王立（前 529）・蔡の復國（前 529）・吳入郢（前 506）・楚昭王卒（前 489）・楚滅陳（前 478）

吳・越：越滅吳（前 473）

と、晉關係の事件に代わって、周王朝および中原諸國の内亂、楚・吳・越の動向に關する事件がほとんどを占めるようになる。

『左傳』の年代記的記述は前 722～前 468 年の 255 年間にわたり、ちょうど 85 年ずつ前期（前 722～前 638）・中期（前 637～前 553）・後期（前 552～前 468）に三分される。豫言された事件に注目するならば、前期は晉霸形成の前段階、中期は文襄の霸の成立、晉霸中衰、悼公復霸、そして晉の六卿の確定、といった具合に晉霸の動向が最も中心的な主題となっている。對するに、後期は宋の盟における晉霸の最終的完成がその弛緩をもたらした結果、周王朝や中原諸侯國では内亂が相次ぎ、その一方で楚靈王・吳王夫差が霸權の奪取を窺うが、果たせずして敗滅する過程が描かれる。

圖 1 に示したように、豫言および豫言された事件の件数は、後期の前半に当たる前 540～前 510 年代にとりわけ大きな値を示している。『左傳』は春秋史において、春秋後期前半における王朝・中原諸侯國および世族の動向、そしてそれと表裏の關係にあった晉霸の完成から弛緩、そして解體の過程に最大の關心を有していたということになるろう。

戰國前期、魏文侯・武侯は周王朝・晉侯を奉じてかつての晉霸を再現した。前 404 年の對齊戰勝利ののち、晉烈公が中原諸侯を率いて周威烈王に朝したことは、晉霸の再現を最も端的に表象する。ところが、一方で、魏と趙・韓の協力關係は脆弱で、前

386 年には趙が對魏開戦に踏み切り、ついで前 370 年に魏武侯が卒し、魏が恵王と公仲緩の公位繼承紛争に陥ると、趙・韓が晉孝公を屯留に遷し（前 369）、周を二分した（前 367）。魏が周王朝・晉侯を奉ずる晉霸の基盤が奪われたのである。當時、晉霸は歴史的な経験を具體的にたどりうる唯一の全中國的政治社會秩序であった。『左傳』が編纂された前 375～前 364 以前の數年間、魏によって再現された晉霸は解體に瀕していたのである。これこそが、『左傳』が春秋後期前半における晉霸の解體に最大の關心を注いだゆえんであろう。

引用文献

- 陳夢家 1956 『六國紀年』、上海人民出版社。
- 方詩銘・王修齡 1981 『古本竹書紀年輯證』、上海古籍出版社。
- 黃覺弘 2010 『左傳學早期流變研究』、中國社會科學出版社。
- 劉瑛 2006 『《左傳》《國語》方術研究』、人民文學出版社。
- 小倉芳彦 1988-89 『春秋左氏傳』、岩波書店。
- 童書業 1980 『春秋左傳研究』、上海人民出版社。
- 錢穆 1956 『先秦諸子繫年』、香港大學出版社。
- 新城新藏 1928 『東洋天文學史研究』、弘文堂書房。
- 楊寬 1955 『戰國史』、上海人民出版社。
- 2001 『戰國史料編年輯證』、上海人民出版社。
- 吉本道雅 1992 「檀弓考」、『古代文化』44-5、38-46 頁。
- 1998 「史記戰國紀年考」、『立命館文學』556、1-76 頁。
- 2002 「左傳成書考」、『立命館東洋史學』25、1-21 頁。
- 2003 「春秋三傳小考」、『東亞文史論叢』2003、175-186 頁。
- 2005 『中國先秦史の研究』、京都大學學術出版會。
- 2007 「中國古代における華夷思想の成立」、夫馬進編『中國東アジア外交交流史の研究』、4-30 頁、京都大學學出出版會。
- 2013 「清華簡繫年考」、『京都大學文學部研究紀要』52、1-94 頁。
- 2015 「『左傳』と春秋史」、『京都大學文學部研究紀要』54、1-76 頁。
- 張培瑜 2009 「試論左傳國語天象紀事的史料價值」、『史學月刊』2009-1、68-78 頁。
- 張衛中 1996 「《左傳》預言探析」、『益陽師專學報』17、100-104 頁。
- 張翹 2002 「《左傳》伏線藝術簡論」、『蕪湖職業技術學院學報』4-2、39-41 頁。
- 鄭良樹 1974 「論左傳「君子曰」非後人所附益」、『書目季刊』8-2、21-28 頁。